

別冊

石巻市立小・中学校学区再編計画 地区別計画

地区別計画 目 次

1	計画地区・学校一覧	1
2	児童生徒数・学級数の推移と見込み	2
(1)	石巻市の児童生徒数の推移	2
(2)	平成23年度以降の学校数・学級数・児童生徒数の推移	3
(3)	学級数の見込み	4
ア	中学校	4
イ	小学校	5
	石巻地区	6
1	石巻中学校区	6
2	住吉中学校区	11
3	門脇中学校区	15
4	湊中学校区	18
5	蛇田中学校区	21
6	荻浜中学校区	24
7	渡波中学校区	28
8	稲井中学校区	31
9	山下中学校区	33
10	青葉中学校区	36
11	万石浦中学校区	38
	河北地区	42
12	飯野川中学校区	42
13	河北中学校区	45
	雄勝地区	49
14	雄勝中学校区	49
	河南地区	50
15	河南東中学校区	50
16	河南西中学校区	55
	桃生地区	60
17	桃生中学校区	60
	北上地区	65
18	北上中学校区	65
	牡鹿地区	66
19	牡鹿中学校区	66

石卷市立小・中学校学区再編計画 地区別計画

1 計画地区・学校一覧

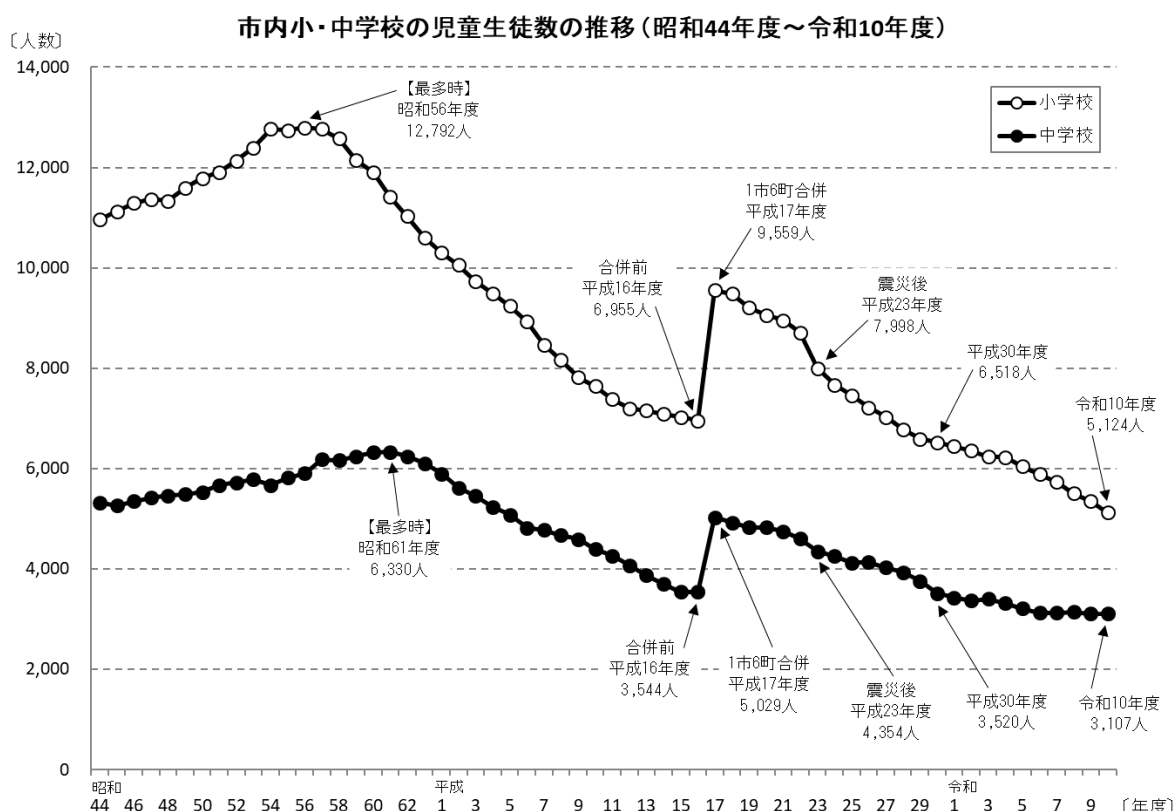
- | | | | | | |
|------|----|-----|------|---|-----------------------------------|
| 石巻地区 | 1 | 石巻 | 中学校区 | … | 石巻中学校、石巻小学校、山下小学校 |
| | 2 | 住吉 | 中学校区 | … | 住吉中学校、住吉小学校、開北小学校 |
| | 3 | 門脇 | 中学校区 | … | 門脇中学校、大街道小学校 |
| | 4 | 湊 | 中学校区 | … | 湊中学校、湊小学校 |
| | 5 | 蛇田 | 中学校区 | … | 蛇田中学校、蛇田小学校、向陽小学校 |
| | 6 | 荻浜 | 中学校区 | … | 荻浜中学校、東浜小学校 |
| | 7 | 渡波 | 中学校区 | … | 渡波中学校、渡波小学校、鹿妻小学校 |
| | 8 | 稲井 | 中学校区 | … | 稲井中学校、稲井小学校 |
| | 9 | 山下 | 中学校区 | … | 山下中学校、貞山小学校、中里小学校 |
| | 10 | 青葉 | 中学校区 | … | 青葉中学校、釜小学校 |
| | 11 | 万石浦 | 中学校区 | … | 万石浦中学校、万石浦小学校 |
| 河北地区 | 12 | 飯野川 | 中学校区 | … | 飯野川中学校、飯野川小学校 |
| | 13 | 河北 | 中学校区 | … | 河北中学校、大谷地小学校、二俣小学校 |
| 雄勝地区 | 14 | 雄勝 | 中学校区 | … | 雄勝中学校、雄勝小学校 |
| 河南地区 | 15 | 河南東 | 中学校区 | … | 河南東中学校、須江小学校、和湊小学校、
鹿又小学校 |
| | 16 | 河南西 | 中学校区 | … | 河南西中学校、広湊小学校、北村小学校、
前谷地小学校 |
| 桃生地区 | 17 | 桃生 | 中学校区 | … | 桃生中学校、中津山第一小学校、中津山第二小学校、
桃生小学校 |
| 北上地区 | 18 | 北上 | 中学校区 | … | 北上中学校、北上小学校 |
| 牡鹿地区 | 19 | 牡鹿 | 中学校区 | … | 牡鹿中学校、鮎川小学校、大原小学校、寄磯小学校 |

2 児童生徒数・学級数の推移と見込み

(1) 石巻市の児童生徒数の推移

石巻市は、平成17年に1市6町が合併し新たな石巻市としてスタートしました。

合併当初、小学生は9,559人、中学生は5,029人、合計14,588人いましたが、全国的な少子化の影響とともに、東日本大震災の影響も加わり平成23年度には、小学生7,998人、中学生4,354人、合計12,352人（平成17年度比15%減）まで減少し、平成30年度には、小学生6,518人、中学生3,520人、合計10,038人（平成17年度比31%減）となり、減少傾向が続いています。



(2) 平成23年度以降の学校数・学級数・児童生徒数の推移

平成23年の東日本大震災によって、多くの学校が被害を受けました。災害復旧と合わせて学校の統廃合も実施してきましたが、児童生徒数の減少に伴い学校数と学級数にも減少傾向を見ることができます。

今後も児童生徒数は減少傾向で推移するため、現在の学校数のままでは、学校ごとの学級数や児童生徒数がさらに減少し、ますます小規模化していくことが予想されます。

年度	中学校数	学級数	生徒数	小学校数	学級数	児童数	合計 児童生徒数
H23	21	146	4,354	43	337	7,998	12,352
24	21	146	4,253	42	325	7,667	11,920
25	20	138	4,128	39	307	7,458	11,586
26	20	137	4,129	38	295	7,217	11,346
27	20	135	4,031	36	280	7,025	11,056
28	20	135	3,932	36	276	6,783	10,715
29	19	129	3,760	35	271	6,589	10,349
30	19	122	3,520	33	267	6,518	10,038
R1		119	3,425		258	6,441	9,866
2		118	3,370		258	6,360	9,730
3		117	3,399		259	6,234	9,633
4		116	3,319		258	6,227	9,546
5		111	3,214		249	6,048	9,262
6		111	3,124		246	5,887	9,011
7		111	3,122		241	5,730	8,852
8		111	3,144		239	5,502	8,646
9		109	3,112		236	5,345	8,457
10		111	3,107		229	5,124	8,231

※ 学級数は、普通学級のみ（特別支援学級は含まない。）

※ 児童生徒数は、全児童生徒（特別支援児童生徒を含む。）

※ 令和元年度以降は、教育委員会の平成30年度に試算した推計値

(3) 学級数の見込み

ア 中学校

(単位：学級)

年 度	H30	R 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
石 卷 中学校	9	9	9	8	8	8	8	8	7	7	7
住 吉 中学校	9	9	9	9	8	6	6	6	7	6	6
門 脇 中学校	5	5	4	4	4	3	3	4	4	3	4
湊 中学校	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
蛇 田 中学校	17	17	17	18	19	18	17	17	15	15	16
荻 浜 中学校	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2
渡 波 中学校	9	9	8	9	10	9	9	8	9	9	9
稲 井 中学校	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6
山 下 中学校	8	7	7	7	6	6	6	6	7	7	7
青 葉 中学校	8	7	7	6	6	6	6	6	7	6	7
万石浦 中学校	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5
飯野川 中学校	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
河 北 中学校	6	6	5	5	4	5	5	5	5	6	6
雄 勝 中学校	3	3	3	3	2	2	2	3	3	3	3
河南東 中学校	9	9	10	9	10	9	10	10	10	10	9
河南西 中学校	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
桃 生 中学校	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
北 上 中学校	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
牡 鹿 中学校	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
9 学級以上	5	5	4	4	3	3	3	2	3	3	3
8 学級～4 学級	9	8	9	9	10	9	9	11	10	9	10
3 学級以下	5	6	6	6	6	7	7	6	6	7	6

※ 平成30年度推計値

9 学級以上

3 学級以下

イ 小学校

(単位：学級)

年 度	H 3 0	R 1	2	3	4	5	6
石 卷 小学校	12	10	10	10	9	9	8
住 吉 小学校	6	6	6	6	6	6	6
湊 小学校	6	6	6	6	6	6	7
釜 小学校	14	12	13	13	13	14	15
山 下 小学校	6	7	7	7	7	7	7
蛇 田 小学校	25	25	25	25	24	23	23
東 浜 小学校	3	3	3	3	3	2	2
渡 波 小学校	9	10	11	11	11	10	11
稲 井 小学校	12	12	12	12	12	12	12
向 陽 小学校	15	12	12	12	11	11	10
貞 山 小学校	6	6	7	7	7	7	7
開 北 小学校	12	12	12	12	12	11	11
万石浦 小学校	12	12	11	10	10	9	9
大街道 小学校	7	8	8	7	7	7	7
中 里 小学校	10	7	6	6	6	6	6
鹿 妻 小学校	12	12	12	12	12	12	12
飯野川 小学校	6	6	6	6	6	6	6
大谷地 小学校	6	6	6	6	6	6	6
二 俣 小学校	6	6	6	6	6	6	6
雄 勝 小学校	5	3	3	3	4	3	3
広 渕 小学校	6	6	6	6	6	6	6
須 江 小学校	11	10	9	10	10	9	7
北 村 小学校	6	6	6	6	6	6	6
前谷地 小学校	6	6	6	6	6	6	6
和 渕 小学校	6	6	6	6	6	6	6
鹿 又 小学校	9	10	10	11	12	11	10
中津山第一 小学校	6	6	6	6	6	6	6
中津山第二 小学校	6	6	6	6	6	6	6
桃 生 小学校	6	6	6	6	6	6	5
北 上 小学校	6	6	6	6	6	6	6
鮎 川 小学校	3	3	3	3	3	3	3
大 原 小学校	3	3	3	4	4	3	3
寄 磯 小学校	3	3	3	3	3	2	2
1 2 学級以上	8	7	6	6	6	4	4
1 1 学級～ 7 学級	5	7	8	8	8	10	11
6 学級以下	20	19	19	19	19	19	18
(うち複式学級)	(4)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(6)

※ 平成 3 0 年度推計値

1 2 学級以上

6 学級以下

複式学級

石 巻 地 区

1 石巻中学校区

(1) 学校の沿革

【中学校】

学 校 名	創立年月日	沿 革
石巻中学校	昭和22年4月22日	昭和22年開校。昭和57年4月山下中学校開校に伴い学区分割し、現在に至る。

【小学校】

学 校 名	創立年月日	沿 革
石巻小学校	明治6年6月4日	明治6年開校。明治25年湊・門脇分教場が独立。明治34年住吉分教場が独立。平成27年4月門脇小学校と統合し、現在に至る。
山下小学校	昭和27年4月	昭和27年開校。昭和48年4月貞山小学校開校に伴い学区分割し、現在に至る。

(2) 学級数

■ 石巻中学校

平成30年5月1日現在の学級数は9学級で標準的規模です。向こう10年間の推計では、令和3年度には8学級と標準的規模を下回り、令和10年度には7学級まで減少しますが、全学年でクラス替えができ、同学年に複数教員を配置できる規模は継続する見込みです。

■ 石巻小学校

平成30年5月1日現在の学級数は12学級で標準的規模です。向こう10年間の推計では、令和元年度には10学級と標準的規模を下回り、令和10年度には6学級まで減少し、クラス替えのできない学年のある状況が継続する見込みです。

■ 山下小学校

平成30年5月1日現在の学級数は6学級で標準的規模を下回っています。向こう10年間の推計では、令和10年度まで6～7学級で推移し、クラス替えのできない学年のある状況が継続する見込みです。

(3) 児童生徒数

■ 石巻中学校

平成30年5月1日現在の生徒数は296名です。向こう10年間の推計では、生徒数の年平均増減率はマイナス3.0%であり、令和10年度には217名となる見込みです。

■ 石巻小学校

平成30年5月1日現在の児童数は310名です。向こう10年間の推計では、児童数の年平均増減率はマイナス6.1%であり、令和10年度には163名となる見込みです。

■ 山下小学校

平成30年5月1日現在の児童数は178名です。向こう10年間の推計では、児童数の年平均増減率はマイナス1.4%であり、令和10年度には154名となる見込みです。

(4) 学区再編計画（素案）保護者説明会の意見等（平成29年度開催）

学区再編計画（素案）の保護者説明会において、石巻中学校区の学区再編の一つの考え方として、「平成33年度を目途に、石巻中学校と門脇中学校の統合を進める」こと、また、「平成37年度を目途に、石巻小学校と山下小学校の統合を進める」ことを提示し、意見交換をしました。なお、その主な意見等は次のとおりでした。

■ 石巻中学校

- ・ 統合によるストレスを感じる子どももいるので、主役である子どもたちのことを第一に考えてほしい。

■ 石巻小学校

- ・ 通学路の安全対策を十分にしてほしい。
- ・ 一部の学年に単学級が生じれば、早期に統合を進めるべきである。
- ・ 学校跡地を住民にとって利用しやすいものにしてほしい。
- ・ 統合の場合は、子どもたちがなじむまで時間をかけてほしい。

■ 山下小学校

- ・ 財政的な面も重要と考えており、教育に関する行政サービス維持のための統合ということであれば検討したいと思うが、説明等を聞いて現時点では再編の必要性はないのではないかと感じた。
- ・ 子どもたちの通学の安全面を重視したい。
- ・ 統合後の校舎の場所や、学区割に変更が生じるかといった点を重視したい。
- ・ 統合先の校舎の場所や統合時期を示された後で検討したい。
- ・ 統合によるメリットが見えない。
- ・ 統合先となる校舎のメリット比較ができないと保護者同士の話し合いも難しい。
- ・ この説明会で提供された情報のみにより統合の可否を現在のPTAが決めることは荷が重い。
- ・ 児童数の推計を見ると1学年複数学級となる可能性もあり、現時点で決めることには不満が残る。

- ・ 子どもたちを置き去りにして人数だけで決めていくのはいかがか。
- ・ 児童の少なさには寂しさを感じている。
- ・ 中学校統合の話の進み具合によっては、小学校統合の背景に変化が生じると考える。

(5) 統合に向けた検討の方向性

■ 石巻中学校

向こう10年間の推計では、石巻中学校については、複数学級が継続する見込みである一方、門脇中学校については、生徒数は減少傾向で、学級数は全学年が単学級となる年度が複数生じる見込みであり、これまでの保護者説明会等の経緯を踏まえ、石巻中学校と門脇中学校の今後の学校のあり方及びその一つの考え方としての両校の統合について、地区懇談会を開催して検討します。

■ 石巻小学校、山下小学校

向こう10年間の推計では、両校とも児童数は減少傾向で、学級数は全学年が単学級まで減少する見込みであり、これまでの保護者説明会等の経緯を踏まえ、石巻小学校と山下小学校の今後の学校のあり方及びその一つの考え方としての両校の統合について、地区懇談会を開催して検討します。

《普通学級における学級数及び児童生徒数の長期見込み》

※各年度の左列：学級数、右列：児童生徒数（平成30年5月1日現在）

※網掛け部分は、まだ生まれていない児童の推計値

※学区外就学及び転入・転出など社会動態による児童生徒数の増減等は、加味していない。

※特別支援学級の児童生徒数は、推計値に含めていない。

※復興公営住宅や防災集団移転用地等への転居予定による児童生徒数の増減は、平成29年度末の状況を反映している。

石巻中学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	3	101	3	81	3	77	3	88	3	91	2	66	3	85	3	76	2	69	3	73	3	75
2	3	98	3	101	3	81	2	77	3	88	3	91	2	66	3	85	2	76	2	69	2	73
3	3	97	3	98	3	101	3	81	2	77	3	88	3	91	2	66	3	85	2	76	2	69
計	9	296	9	280	9	259	8	246	8	256	8	245	8	242	8	227	7	230	7	218	7	217

石巻小学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	2	61	1	34	2	40	2	45	2	43	1	33	1	20	1	31	1	27	1	25	1	27
2	2	35	2	61	1	34	2	40	2	45	2	43	1	33	1	20	1	31	1	27	1	25
3	2	61	1	35	2	61	1	34	1	40	2	45	2	43	1	33	1	20	1	31	1	27
4	2	53	2	61	1	35	2	61	1	34	1	40	2	45	2	43	1	33	1	20	1	31
5	2	51	2	53	2	61	1	35	2	61	1	34	1	40	2	45	2	43	1	33	1	20
6	2	49	2	51	2	53	2	61	1	35	2	61	1	34	1	40	2	45	2	43	1	33
計	12	310	10	295	10	284	10	276	9	258	9	256	8	215	8	212	8	199	7	179	6	163

山下小学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	1	24	2	42	1	29	1	28	1	32	1	25	1	27	1	27	1	25	1	25	1	25
2	1	31	1	24	2	42	1	29	1	28	1	32	1	25	1	27	1	27	1	25	1	25
3	1	30	1	31	1	24	2	42	1	29	1	28	1	32	1	25	1	27	1	27	1	25
4	1	35	1	30	1	31	1	24	2	42	1	29	1	28	1	32	1	25	1	27	1	27
5	1	26	1	35	1	30	1	31	1	24	2	42	1	29	1	28	1	32	1	25	1	27
6	1	32	1	26	1	35	1	30	1	31	1	24	2	42	1	29	1	28	1	32	1	25
計	6	178	7	188	7	191	7	184	7	186	7	180	7	183	6	168	6	164	6	161	6	154

《統合を想定した場合の学級数及び児童生徒数の長期見込み》

※各年度の左列：学級数、右列：児童生徒数（平成30年5月1日現在）

※網掛け部分は、まだ生まれていない児童の推計値

※学区外就学及び転入・転出など社会動態による児童生徒数の増減等は、加味していない。

※特別支援学級の児童生徒数は、推計値に含めていない。

※復興公営住宅や防災集団移転用地等への転居予定による児童生徒数の増減は、平成29年度末の状況を反映している。

「石巻中学校」と「門脇中学校」が統合した場合

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	—	—	—	—	4	120	4	114	4	122	3	97	4	115	4	113	4	109	4	107	4	128
2	—	—	—	—	3	117	3	120	3	114	4	122	3	97	3	115	3	113	3	109	3	107
3	—	—	—	—	4	135	3	117	3	120	3	114	4	122	3	97	3	115	3	113	3	109
計	—	—	—	—	11	372	10	351	10	356	10	333	11	334	10	325	10	337	10	329	10	344

石巻中学校の普通教室利用可能数：19（最大）

門脇中学校の普通教室利用可能数：19（最大）

※特別教室、特別支援教室等は平成30年度の室数でカウントし、この室数に含まない。

「石巻小学校」と「山下小学校」が統合した場合

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	—	—	—	—	2	69	3	73	3	75	2	58	2	47	2	58	2	52	2	50	2	52
2	—	—	—	—	3	76	2	69	3	73	3	75	2	58	2	47	2	58	2	52	2	50
3	—	—	—	—	3	85	2	76	2	69	2	73	2	75	2	58	2	47	2	58	2	52
4	—	—	—	—	2	66	3	85	2	76	2	69	2	73	2	75	2	58	2	47	2	58
5	—	—	—	—	3	91	2	66	3	85	2	76	2	69	2	73	2	75	2	58	2	47
6	—	—	—	—	3	88	3	91	2	66	3	85	2	76	2	69	2	73	2	75	2	58
計	—	—	—	—	16	475	15	460	15	444	14	436	12	398	12	380	12	363	12	340	12	317

石巻小学校の普通教室利用可能数：15（最大）

山下小学校の普通教室利用可能数：15（最大）

※特別教室、特別支援教室等は平成30年度の室数でカウントし、この室数に含まない。

2 住吉中学校区

(1) 学校の沿革

【中学校】

学 校 名	創立年月日	沿 革
住吉中学校	昭和22年4月1日	昭和22年開校。昭和57年4月山下中学校開校に伴い学区分割し、現在に至る。

【小学校】

学 校 名	創立年月日	沿 革
住吉小学校	明治34年	明治34年開校。昭和49年4月に開北小学校、昭和56年4月に中里小学校開校に伴い学区分割し、現在に至る。
開北小学校	昭和49年4月	昭和49年住吉小学校から分離開校。昭和56年4月中里小学校開校に伴い学区分割し、現在に至る。

(2) 学級数

■ 住吉中学校

平成30年5月1日現在の学級数は9学級で標準的規模です。向こう10年間の推計では、令和4年度には8学級と標準的規模を下回り、令和10年度まで6～7学級で推移しますが、全学年でクラス替えができ、同学年に複数教員を配置できる規模は継続する見込みです。

■ 住吉小学校

平成30年5月1日現在の学級数は6学級で標準的規模を下回っています。向こう10年間の推計では、令和10年度まで6学級で推移し、全学年でクラス替えのできない状況が継続する見込みです。

■ 開北小学校

平成30年5月1日現在の学級数は12学級で標準的規模です。向こう10年間の推計では、令和10年度まで11～12学級で推移し、おおむね標準的規模が継続する見込みです。

(3) 児童生徒数

■ 住吉中学校

平成30年5月1日現在の生徒数は274名です。向こう10年間の推計では、生徒数の年平均増減率はマイナス3.6%であり、令和10年度には188名となる見込みです。

■ 住吉小学校

平成30年5月1日現在の児童数は129名です。向こう10年間の推計では、児童数の年平均増減率はマイナス1.0%であり、令和10年度には113名となる見込みです。

■ 開北小学校

平成30年5月1日現在の児童数は315名です。向こう10年間の推計では、児童数の年平均増減率はマイナス1.5%であり、令和10年度には269名となる見込みです。

(4) 学区再編計画（素案）保護者説明会の意見等（平成29年度開催）

学区再編計画（素案）の保護者説明会において、住吉中学校区の学区再編の一つの考え方として、「住吉中学校は、現状維持とする」こと、また、「平成32年度を目途に、住吉小学校と開北小学校の統合を進める」ことを提示し、意見交換をしました。なお、その主な意見等は次のとおりでした。

■ 住吉中学校

説明会は開催せず、保護者に情報提供を行いました。

■ 住吉小学校

- ・ 将来の石巻市を総合的に考えて、教育環境を検討すべきである。
- ・ 他校の統合時の反省点を踏まえて、統合を進めてほしい。
- ・ 震災により統合した学校とは状況が異なるので、急いで統合を進めるべきではない。
- ・ 市全体の学区割の見直しも考える必要がある。
- ・ 統合後の校名や使用校舎などの具体的な事項を示さないと、踏み込んだ話ができない。

■ 開北小学校

- ・ 特に意見はありませんでした。

(5) 統合に向けた検討の方向性

■ 住吉中学校

向こう10年間の推計では、複数学級が継続する見込みであり、現状維持とします。

■ 住吉小学校、開北小学校

向こう10年間の推計では、開北小学校については、一部の学年で複数学級が継続する見込みですが、住吉小学校については、児童数は減少傾向で、学級数は全学年で単学級が継続する見込みであり、これまでの保護者説明会等の経緯を踏まえ、住吉小学校と開北小学校の今後の学校のあり方及びその一つの考え方としての両校の統合について、地区懇談会を開催して検討します。

《普通学級における学級数及び児童生徒数の長期見込み》

※各年度の左列：学級数、右列：児童生徒数（平成30年5月1日現在）

※網掛け部分は、まだ生まれていない児童の推計値

※学区外就学及び転入・転出など社会動態による児童生徒数の増減等は、加味していない。

※特別支援学級の児童生徒数は、推計値に含めていない。

※復興公営住宅や防災集団移転用地等への転居予定による児童生徒数の増減は、平成29年度末の状況を反映している。

住吉中学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	3	89	3	88	3	82	3	72	3	71	2	61	2	70	2	68	3	75	2	52	2	61
2	3	98	3	89	3	88	3	82	2	72	2	71	2	61	2	70	2	68	2	75	2	52
3	3	87	3	98	3	89	3	88	3	82	2	72	2	71	2	61	2	70	2	68	2	75
計	9	274	9	275	9	259	9	242	8	225	6	204	6	202	6	199	7	213	6	195	6	188

住吉小学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	1	18	1	14	1	21	1	13	1	8	1	23	1	20	1	16	1	19	1	18	1	17
2	1	16	1	18	1	14	1	21	1	13	1	8	1	23	1	20	1	16	1	19	1	18
3	1	22	1	16	1	18	1	14	1	21	1	13	1	8	1	23	1	20	1	16	1	19
4	1	15	1	22	1	16	1	18	1	14	1	21	1	13	1	8	1	23	1	20	1	16
5	1	28	1	15	1	22	1	16	1	18	1	14	1	21	1	13	1	8	1	23	1	20
6	1	30	1	28	1	15	1	22	1	16	1	18	1	14	1	21	1	13	1	8	1	23
計	6	129	6	113	6	106	6	104	6	90	6	97	6	99	6	101	6	99	6	104	6	113

開北小学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	2	52	2	54	2	54	2	39	2	53	2	41	2	50	2	46	2	44	2	45	2	43
2	2	45	2	52	2	54	2	54	2	39	2	53	2	41	2	50	2	46	2	44	2	45
3	2	49	2	45	2	52	2	54	2	54	1	39	2	53	2	41	2	50	2	46	2	44
4	2	57	2	49	2	45	2	52	2	54	2	54	1	39	2	53	2	41	2	50	2	46
5	2	54	2	57	2	49	2	45	2	52	2	54	2	54	1	39	2	53	2	41	2	50
6	2	58	2	54	2	57	2	49	2	45	2	52	2	54	2	54	1	39	2	53	2	41
計	12	315	12	311	12	311	12	293	12	297	11	293	11	291	11	283	11	273	12	279	12	269

《統合を想定した場合の学級数及び児童数の長期見込み》

※各年度の左列：学級数、右列：児童数（平成30年5月1日現在）

※網掛け部分は、まだ生まれていない児童の推計値

※学区外就学及び転入・転出など社会動態による児童数の増減等は、加味していない。

※特別支援学級の児童数は、推計値に含めていない。

※復興公営住宅や防災集団移転用地等への転居予定による児童数の増減は、平成29年度末の状況を反映している。

「住吉小学校」と「開北小学校」が統合した場合

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	—	—	—	—	3	75	2	52	2	61	2	64	2	70	2	62	2	63	2	63	2	60
2	—	—	—	—	2	68	3	75	2	52	2	61	2	64	2	70	2	62	2	63	2	63
3	—	—	—	—	2	70	2	68	2	75	2	52	2	61	2	64	2	70	2	62	2	63
4	—	—	—	—	2	61	2	70	2	68	2	75	2	52	2	61	2	64	2	70	2	62
5	—	—	—	—	2	71	2	61	2	70	2	68	2	75	2	52	2	61	2	64	2	70
6	—	—	—	—	2	72	2	71	2	61	2	70	2	68	2	75	2	52	2	61	2	64
計	—	—	—	—	13	417	13	397	12	387	12	390	12	390	12	384	12	372	12	383	12	382

住吉小学校の普通教室利用可能数：18（最大）

開北小学校の普通教室利用可能数：18（最大）

※特別教室、特別支援教室等は平成30年度の室数でカウントし、この室数に含まない。

3 門脇中学校区

(1) 学校の沿革

【中学校】

学 校 名	創立年月日	沿 革
門脇中学校	昭和22年4月22日	昭和22年開校。平成2年4月青葉中学校開校に伴い学区分割。平成27年4月門脇小学校が石巻小学校と統合したことにより、連携校が大街道小学校のみとなり、現在に至る。

【小学校】

学 校 名	創立年月日	沿 革
大街道小学校	昭和55年4月1日	昭和55年門脇小学校と釜小学校から分離開校し、現在に至る。

(2) 学級数

■ 門脇中学校

平成30年5月1日現在の学級数は5学級で標準的規模を下回っています。向こう10年間の推計では、令和5年度には3学級まで減少し、令和10年度まで3～4学級で推移します。クラス替えのできない学年のある状況が継続する見込みです。

■ 大街道小学校

平成30年5月1日現在の学級数は7学級で標準的規模を下回っています。向こう10年間の推計では、令和10年度まで6～8学級で推移し、クラス替えのできない学年のある状況が継続する見込みです。

(3) 児童生徒数

■ 門脇中学校

平成30年5月1日現在の生徒数は141名です。向こう10年間の推計では、生徒数の年平均増減率はマイナス0.6%であり、令和10年度には127名となる見込みです。

■ 大街道小学校

平成30年5月1日現在の児童数は197名です。向こう10年間の推計では、児童数の年平均増減率はプラス0.7%であり、令和10年度には208名となる見込みです。

(4) 学区再編計画（素案）保護者説明会の意見等（平成29年度開催）

学区再編計画（素案）の保護者説明会において、門脇中学校区の学区再編の一つの考え方として、「平成33年度を目途に、門脇中学校と石巻中学校の統合を進める」こと、また、「大街道小学校は、現状維持とする」ことを提示し、意見交換をしました。なお、その主な意見等は次のとおりでした。

■ 門脇中学校、大街道小学校（合同開催）

- ・ 中学校は早期に統合を進めてほしい。
- ・ 中学校のPTA活動においては、将来的な統合を見据えて石巻中学校との交流を開始している。
- ・ 中学校の統合を進める場合は、現在と未来の子どもたちと保護者の声を優先してほしい。
- ・ 中学校の部活動の合同を先行して検討されたい。
- ・ 一つの校舎に二つの学校が共存する方法を統合前から実施すれば、子どもたちが交流する時間を短縮でき、統合時期を早められるのではないかと。

(5) 統合に向けた検討の方向性

■ 門脇中学校

向こう10年間の推計では、生徒数は減少傾向で、学級数は全学年が単学級となる年度が複数生じる見込みであり、これまでの保護者説明会等の経緯を踏まえ、門脇中学校と石巻中学校の今後の学校のあり方及びその一つの考え方としての両校の統合について、地区懇談会を開催して検討します。

■ 大街道小学校

向こう10年間の推計では、児童数は増加傾向にあります。しかしながら、各学年の児童数が平準化する傾向にあり、令和10年度には、学級数は全学年が単学級まで減少する見込みです。

このため、学級数の観点から今回の検討対象となるところですが、学区再編計画（素案）においては、大街道小学校は現状維持としていたことから、新たに教育委員会で検討し、地区別計画に位置付けるものとします。

《普通学級における学級数及び児童生徒数の長期見込み》

※各年度の左列：学級数、右列：児童生徒数（平成30年5月1日現在）

※網掛け部分は、まだ生まれていない児童の推計値

※学区外就学及び転入・転出など社会動態による児童生徒数の増減等は、加味していない。

※特別支援学級の児童生徒数は、推計値に含めていない。

※復興公営住宅や防災集団移転用地等への転居予定による児童生徒数の増減は、平成29年度末の状況を反映している。

門脇中学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	1	34	2	36	2	43	1	26	1	31	1	31	1	30	2	37	2	40	1	34	2	53
2	2	47	1	34	1	36	2	43	1	26	1	31	1	31	1	30	1	37	1	40	1	34
3	2	60	2	47	1	34	1	36	2	43	1	26	1	31	1	31	1	30	1	37	1	40
計	5	141	5	117	4	113	4	105	4	100	3	88	3	92	4	98	4	107	3	111	4	127

大街道小学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	1	30	2	37	2	40	1	34	2	53	1	33	1	34	2	39	1	34	1	34	1	34
2	1	31	1	30	2	37	2	40	1	34	2	53	1	33	1	34	2	39	1	34	1	34
3	1	31	1	31	1	30	1	37	1	40	1	34	2	53	1	33	1	34	1	39	1	34
4	1	26	1	31	1	31	1	30	1	37	1	40	1	34	2	53	1	33	1	34	1	39
5	2	43	1	26	1	31	1	31	1	30	1	37	1	40	1	34	2	53	1	33	1	34
6	1	36	2	43	1	26	1	31	1	31	1	30	1	37	1	40	1	34	2	53	1	33
計	7	197	8	198	8	195	7	203	7	225	7	227	7	231	8	233	8	227	7	227	6	208

《統合を想定した場合の学級数及び生徒数の長期見込み》

※各年度の左列：学級数、右列：生徒数（平成30年5月1日現在）

※学区外就学及び転入・転出など社会動態による生徒数の増減等は、加味していない。

※特別支援学級の生徒数は、推計値に含めていない。

※復興公営住宅や防災集団移転用地等への転居予定による生徒数の増減は、平成29年度末の状況を反映している。

「門脇中学校」と「石巻中学校」が統合した場合

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	—	—	—	—	4	120	4	114	4	122	3	97	4	115	4	113	4	109	4	107	4	128
2	—	—	—	—	3	117	3	120	3	114	4	122	3	97	3	115	3	113	3	109	3	107
3	—	—	—	—	4	135	3	117	3	120	3	114	4	122	3	97	3	115	3	113	3	109
計	—	—	—	—	11	372	10	351	10	356	10	333	11	334	10	325	10	337	10	329	10	344

門脇中学校の普通教室利用可能数：19（最大）

石巻中学校の普通教室利用可能数：19（最大）

※特別教室、特別支援教室等は平成30年度の室数でカウントし、この室数に含まない。

4 湊中学校区

(1) 学校の沿革

【中学校】

学 校 名	創立年月日	沿 革
湊中学校	昭和22年4月22日	昭和22年開校し、現在に至る。

【小学校】

学 校 名	創立年月日	沿 革
湊小学校	明治6年5月20日	明治6年開校。昭和29年4月湊第二小学校開校に伴い学区分割。昭和61年4月鹿妻小学校開校に伴い湊第二小学校学区の一部分割。平成26年4月湊第二小学校と統合し、現在に至る。

(2) 学級数

■ 湊中学校

平成30年5月1日現在の学級数は4学級で標準的規模を下回っています。向こう10年間の推計では、令和元年度から令和10年度までは3学級で推移し、全学年でクラス替えのできない状況が継続する見込みです。

■ 湊小学校

平成30年5月1日現在の学級数は6学級で標準的規模を下回っています。向こう10年間の推計では、令和10年度まで6～7学級で推移し、ほぼ全ての学年でクラス替えのできない状況が継続する見込みです。

※湊北地区及び湊東地区では被災市街地復興土地区画整理事業が進行中であり、将来の住民移動が予測困難であるため、学級数の推計に当たり、当該事業の影響は考慮されておりません。

(3) 児童生徒数

■ 湊中学校

平成30年5月1日現在の生徒数は96名です。向こう10年間の推計では、生徒数の年平均増減率はマイナス1.0%であり、令和10年度には77名となる見込みです。

■ 湊小学校

平成30年5月1日現在の児童数は132名です。向こう10年間の推計では、児童数の年平均増減率はプラス2.6%であり、令和10年度には167名となる見込みです。

※湊北地区及び湊東地区では被災市街地復興土地区画整理事業が進行中であり、将来の住民移動が予測困難であるため、児童生徒数の推計に当たり、当該事業の影響は考慮されておられません。

(4) 学区再編計画（素案）保護者説明会の意見等（平成29年度開催）

■ 湊中学校、湊小学校

保護者説明会は開催せず、湊中学校区の学区再編の一つの考え方として、「湊中学校、湊小学校とも現状維持とする」ことについて、保護者に情報提供を行いました。

(5) 統合に向けた検討の方向性

■ 湊中学校

向こう10年間の推計では、生徒数は減少傾向で、学級数は全学年が単学級まで減少する見込みですが、今後の生徒数の推移や土地区画整理事業の進捗状況を確認し、必要に応じて地区懇談会の開催を検討します。

■ 湊小学校

向こう10年間の推計では、児童数は増加傾向である一方、学級数は全学年が単学級まで減少する見込みですが、今後の児童数の推移や土地区画整理事業の進捗状況を確認し、必要に応じて地区懇談会の開催を検討します。

《普通学級における学級数及び児童生徒数の長期見込み》

※各年度の左列：学級数、右列：児童生徒数（平成30年5月1日現在）

※網掛け部分は、まだ生まれていない児童の推計値

※学区外就学及び転入・転出など社会動態による児童生徒数の増減等は、加味していない。

※特別支援学級の児童生徒数は、推計値に含めていない。

湊中学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	1	18	1	26	1	30	1	25	1	13	1	15	1	23	1	18	1	29	1	18	1	30
2	1	35	1	18	1	26	1	30	1	25	1	13	1	15	1	23	1	18	1	29	1	18
3	2	43	1	35	1	18	1	26	1	30	1	25	1	13	1	15	1	23	1	18	1	29
計	4	96	3	79	3	74	3	81	3	68	3	53	3	51	3	56	3	70	3	65	3	77

湊小学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	1	23	1	18	1	29	1	18	1	30	1	20	2	36	1	28	1	27	1	29	1	27
2	1	15	1	23	1	18	1	29	1	18	1	30	1	20	2	36	1	28	1	27	1	29
3	1	13	1	15	1	23	1	18	1	29	1	18	1	30	1	20	1	36	1	28	1	27
4	1	25	1	13	1	15	1	23	1	18	1	29	1	18	1	30	1	20	1	36	1	28
5	1	30	1	25	1	13	1	15	1	23	1	18	1	29	1	18	1	30	1	20	1	36
6	1	26	1	30	1	25	1	13	1	15	1	23	1	18	1	29	1	18	1	30	1	20
計	6	132	6	124	6	123	6	116	6	133	6	138	7	151	7	161	6	159	6	170	6	167

5 蛇田中学校区

(1) 学校の沿革

【中学校】

学 校 名	創立年月日	沿 革
蛇田中学校	昭和22年4月1日	昭和22年開校。平成2年4月青葉中学校開校に伴い学区分割。平成9年度に青葉中学校区を見直し、現在に至る。

【小学校】

学 校 名	創立年月日	沿 革
蛇田小学校	明治6年6月1日	明治6年開校。昭和47年4月向陽小学校開校に伴い学区分割し、現在に至る。
向陽小学校	昭和47年4月1日	昭和47年蛇田小学校から分離開校し、現在に至る。

(2) 学級数

■ 蛇田中学校

平成30年5月1日現在の学級数は17学級で標準的規模を上回っています。向こう10年間の推計では、令和4年度に19学級まで増加した後、次第に減少し、令和10年度には16学級となりますが、標準的規模は継続する見込みです。

■ 蛇田小学校

平成30年5月1日現在の学級数は25学級で標準的規模を上回っています。向こう10年間の推計では、学級数は次第に減少し、令和10年度には22学級となりますが、標準的規模は継続する見込みです。

■ 向陽小学校

平成30年5月1日現在の学級数は15学級で標準的規模を上回っています。向こう10年間の推計では、令和4年度には11学級と標準的規模を下回り、令和10年度まで10～11学級で推移し、クラス替えのできない学年のある状況が継続する見込みです。

(3) 児童生徒数

■ 蛇田中学校

平成30年5月1日現在の生徒数は614名です。向こう10年間の推計では、生徒数の年平均増減率はマイナス0.9%であり、令和10年度には555名となる見込みです。

■ 蛇田小学校

平成30年5月1日現在の児童数は795名です。向こう10年間の推計では、児童数の年平均増減率はマイナス1.2%であり、令和10年度には704名となる見込みです。

■ 向陽小学校

平成30年5月1日現在の児童数は427名です。向こう10年間の推計では、児童数の年平均増減率はマイナス5.1%であり、令和10年度には251名となる見込みです。

(4) 学区再編計画（素案）保護者説明会の意見等（平成29年度開催）

■ 蛇田中学校、蛇田小学校、向陽小学校

保護者説明会は開催せず、蛇田中学校区の学区再編の一つの考え方として、「蛇田中学校、蛇田小学校、向陽小学校とも現状維持とする」ことについて、保護者に情報提供を行いました。

(5) 統合に向けた検討の方向性

■ 蛇田中学校

向こう10年間の推計では、複数学級が継続する見込みであり、現状維持とします。

■ 蛇田小学校

向こう10年間の推計では、複数学級が継続する見込みであり、現状維持とします。

■ 向陽小学校

向こう10年間の推計では、一部の学年で複数学級が継続する見込みであり、現状維持とします。

《普通学級における学級数及び児童生徒数の長期見込み》

※各年度の左列：学級数、右列：児童生徒数（平成30年5月1日現在）

※網掛け部分は、まだ生まれていない児童の推計値

※学区外就学及び転入・転出など社会動態による児童生徒数の増減等は、加味していない。

※特別支援学級の児童生徒数は、推計値に含めていない。

※復興公営住宅や防災集団移転用地等への転居予定による児童生徒数の増減は、平成29年度末の状況を反映している。

蛇田中学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	6	209	6	194	6	210	7	241	6	190	6	201	6	188	6	193	5	158	6	205	6	192
2	5	200	6	209	5	194	6	210	7	241	5	190	6	201	5	188	5	193	4	158	6	205
3	6	205	5	200	6	209	5	194	6	210	7	241	5	190	6	201	5	188	5	193	4	158
計	17	614	17	603	17	613	18	645	19	641	18	632	17	579	17	582	15	539	15	556	16	555

蛇田小学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	4	128	4	131	4	118	5	142	4	138	4	111	4	127	4	121	4	115	4	117	4	113
2	4	126	4	129	4	131	4	118	5	142	4	138	4	111	4	127	4	121	4	115	4	117
3	4	122	4	127	4	129	4	131	3	118	4	142	4	138	3	111	4	127	4	121	3	115
4	5	161	4	122	4	127	4	129	4	131	3	118	4	142	4	138	3	111	4	127	4	121
5	4	139	5	161	4	122	4	127	4	129	4	131	3	118	4	142	4	138	3	111	4	127
6	4	119	4	139	5	161	4	122	4	127	4	129	4	131	3	118	4	142	4	138	3	111
計	25	795	25	809	25	788	25	769	24	785	23	769	23	767	22	757	23	754	23	729	22	704

向陽小学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	2	59	2	62	2	40	2	63	2	54	2	54	1	32	2	45	2	42	2	38	2	40
2	3	74	2	59	2	62	2	40	2	63	2	54	2	54	1	32	2	45	2	42	2	38
3	2	68	2	74	2	59	2	62	1	40	2	63	2	54	2	54	1	32	2	45	2	42
4	3	80	2	68	2	74	2	59	2	62	1	40	2	63	2	54	2	54	1	32	2	45
5	2	71	2	80	2	68	2	74	2	59	2	62	1	40	2	63	2	54	2	54	1	32
6	3	75	2	71	2	80	2	68	2	74	2	59	2	62	1	40	2	63	2	54	2	54
計	15	427	12	414	12	383	12	366	11	352	11	332	10	305	10	288	11	290	11	265	11	251

6 荻浜中学校区

(1) 学校の沿革

【中学校】

学 校 名	創立年月日	沿 革
荻浜中学校	昭和22年4月22日	昭和22年開校。昭和57年4月東浜中学校と統合し、現在に至る。

【小学校】

学 校 名	創立年月日	沿 革
東浜小学校	明治6年4月	明治6年竹浜小学校として開校。昭和30年荻浜小学校の分校から東浜小学校として独立し、現在に至る。

(2) 学級数

■ 荻浜中学校

平成30年5月1日現在の学級数は3学級で標準的規模を下回っています。向こう10年間の推計では、令和10年度まで2～3学級で推移し、全学年でクラス替えができない状況が継続する見込みです。

■ 東浜小学校

平成30年5月1日現在の学級数は3学級で全学年複式学級となっています。向こう10年間の推計では、令和10年度まで2～3学級で推移し、全学年複式学級又は一部の学年で児童が在籍しない状況が継続する見込みです。

(3) 児童生徒数

■ 荻浜中学校

平成30年5月1日現在の生徒数は8名です。向こう10年間の推計では、生徒数の年平均増減率はマイナス5.7%であり、令和10年度には3名となる見込みです。

■ 東浜小学校

平成30年5月1日現在の児童数は14名です。向こう10年間の推計では、児童数の年平均増減率はマイナス6.7%であり、令和10年度には6名となる見込みです。

(4) 学区再編計画（素案）保護者説明会の意見等（平成29年度開催）

学区再編計画（素案）の保護者説明会において、荻浜中学校区の学区再編の一つの考え方として、「平成32年度を目途に、荻浜中学校と万石浦中学校の統合を進める」こと、また、「平成32年度を目途に、東浜小学校と万石浦小学校の統合を進める」ことを提示し、意見交換をしました。なお、その主な意見等は次のとおりでした。

■ 荻浜中学校

- ・ 統合に対して抵抗感は少ないが、通学に関する不安が大きい。

■ 東浜小学校

- ・ 浜の住民として同じような考え方ができる牡鹿地区の学校と統合した方が良いのではないかと。

(5) 統合に向けた検討の方向性

■ 荻浜中学校

向こう10年間の推計では、生徒数は減少傾向で、学級数は全学年で単学級が継続する見込みであり、これまでの保護者説明会等の経緯を踏まえ、荻浜中学校と万石浦中学校の今後の学校のあり方及びその一つの考え方としての両校の統合について、地区懇談会を開催して検討します。

■ 東浜小学校

向こう10年間の推計では、児童数は減少傾向で、複式学級が継続する見込みであり、これまでの保護者説明会等の経緯を踏まえ、東浜小学校と万石浦小学校の今後の学校のあり方及びその一つの考え方としての両校の統合について、地区懇談会を開催して検討します。

《普通学級における学級数及び児童生徒数の長期見込み》

※各年度の左列：学級数、右列：児童生徒数（平成30年5月1日現在）

※網掛け部分は、まだ生まれていない児童の推計値

※学区外就学及び転入・転出など社会動態による児童生徒数の増減等は、加味していない。

※特別支援学級の児童生徒数は、推計値に含めていない。

※復興公営住宅や防災集団移転用地等への転居予定による児童生徒数の増減は、平成29年度末の状況を反映している。

荻浜中学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	1	2	1	4	1	3	1	2	1	2	1	2	1	1	1	1	0	0	1	2	1	1
2	1	1	1	2	1	4	1	3	1	2	1	2	1	2	1	1	1	1	0	0	1	2
3	1	5	1	1	1	2	1	4	1	3	1	2	1	2	1	2	1	1	1	1	0	0
計	3	8	3	7	3	9	3	9	3	7	3	6	3	5	3	4	2	2	2	3	2	3

東浜小学校

※太枠は複式学級

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	1	1	1	1	0	0	1	2	1	1	0	0	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1
2		2		1	1	1		0		2	1	1		0	1	2	1	1	1	1	1	1
3	1	2	1	2		1		1	0	0		2		1	0	0	1	2	1	1	1	1
4		2		2	1	2	1	1	1	1	0	0	1	2	1	1		0	1	2	1	1
5	1	3	1	2		2		2		1	1	1		0		2	1	0	0	0	1	2
6		4		3	1	2	1	2	1	2		1		1	0	0	1	2	1	1	0	0
計	3	14	3	11	3	8	3	8	3	7	2	5	2	6	2	6	3	7	3	6	3	6

《統合を想定した場合の学級数及び児童生徒数の長期見込み》

※各年度の左列：学級数、右列：児童生徒数（平成30年5月1日現在）

※網掛け部分は、まだ生まれていない児童の推計値

※学区外就学及び転入・転出など社会動態による児童生徒数の増減等は、加味していない。

※特別支援学級の児童生徒数は、推計値に含めていない。

※復興公営住宅や防災集団移転用地等への転居予定による児童生徒数の増減は、平成29年度末の状況を反映している。

「荻浜中学校」と「万石浦中学校」が統合した場合

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	—	—	—	—	2	45	2	60	2	60	2	54	2	39	2	48	2	44	1	35	2	40
2	—	—	—	—	2	57	2	45	2	60	2	60	2	54	1	39	2	48	2	44	1	35
3	—	—	—	—	2	60	2	57	2	45	2	60	2	60	2	54	1	39	2	48	2	44
計	—	—	—	—	6	162	6	162	6	165	6	174	6	153	5	141	5	131	5	127	5	119

荻浜中学校の普通教室利用可能数：4（最大）

万石浦中学校の普通教室利用可能数：7（最大）

※特別教室、特別支援教室等は平成30年度の室数でカウントし、この室数に含まない。

「東浜小学校」と「万石浦小学校」が統合した場合

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	—	—	—	—	2	44	1	35	2	40	1	33	2	39	2	36	1	35	1	35	1	34
2	—	—	—	—	2	48	2	44	1	35	2	40	1	33	2	39	2	36	1	35	1	35
3	—	—	—	—	1	39	2	48	2	44	1	35	1	40	1	33	1	39	1	36	1	35
4	—	—	—	—	2	54	1	39	2	48	2	44	1	35	1	40	1	33	1	39	1	36
5	—	—	—	—	2	60	2	54	1	39	2	48	2	44	1	35	1	40	1	33	1	39
6	—	—	—	—	2	60	2	60	2	54	1	39	2	48	2	44	1	35	1	40	1	33
計	—	—	—	—	11	305	10	280	10	260	9	239	9	239	9	227	7	218	6	218	6	212

東浜小学校の普通教室利用可能数：5（最大）

万石浦小学校の普通教室利用可能数：14（最大）

※特別教室、特別支援教室等は平成30年度の室数でカウントし、この室数に含まない。

7 渡波中学校区

(1) 学校の沿革

【中学校】

学 校 名	創立年月日	沿 革
渡波中学校	昭和22年4月18日	昭和22年開校。平成6年4月万石浦中学校開校に伴い学区分割し、現在に至る。

【小学校】

学 校 名	創立年月日	沿 革
渡波小学校	明治6年4月	明治6年根岸小学校として開校。明治19年渡波小学校に改称。昭和53年4月に万石浦小学校開校、昭和61年4月に鹿妻小学校開校に伴い学区分割し、現在に至る。
鹿妻小学校	昭和61年4月1日	昭和61年湊第二小学校及び渡波小学校から分離開校し、現在に至る。

(2) 学級数

■ 渡波中学校

平成30年5月1日現在の学級数は9学級で標準的規模です。向こう10年間の推計では、令和10年度まで8～10学級で推移し、おおむね標準的規模が継続する見込みです。

■ 渡波小学校

平成30年5月1日現在の学級数は9学級で標準的規模を下回っています。向こう10年間の推計では、令和10年度まで10～11学級で推移し、クラス替えのできない学年のある状況が継続する見込みです。

■ 鹿妻小学校

平成30年5月1日現在の学級数は12学級で標準的規模です。向こう10年間の推計では、令和10年度まで12学級で推移し、標準的規模が継続する見込みです。

(3) 児童生徒数

■ 渡波中学校

平成30年5月1日現在の生徒数は272名です。向こう10年間の推計では、生徒数の年平均増減率はプラス2.0%であり、令和10年度には327名となる見込みです。

■ 渡波小学校

平成30年5月1日現在の児童数は239名です。向こう10年間の推計では、児童数の年平均増減率はプラス0.4%であり、令和10年度には246名となる見込みです。

■ 鹿妻小学校

平成30年5月1日現在の児童数は340名です。向こう10年間の推計では、児童数の年平均増減率はマイナス1.6%であり、令和10年度には289名となる見込みです。

(4) 学区再編計画（素案）保護者説明会の意見等（平成29年度開催）

■ 渡波中学校、渡波小学校、鹿妻小学校

保護者説明会は開催せず、渡波中学校区の学区再編の一つの考え方として、「渡波中学校、渡波小学校、鹿妻小学校とも現状維持とする」ことについて、保護者に情報提供を行いました。

(5) 統合に向けた検討の方向性

■ 渡波中学校

向こう10年間の推計では、複数学級が継続する見込みであり、現状維持とします。

■ 渡波小学校

向こう10年間の推計では、一部の学年で複数学級が継続する見込みであり、現状維持とします。

■ 鹿妻小学校

向こう10年間の推計では、複数学級が継続する見込みであり、現状維持とします。

《普通学級における学級数及び児童生徒数の長期見込み》

※各年度の左列：学級数、右列：児童生徒数（平成30年5月1日現在）

※網掛け部分は、まだ生まれていない児童の推計値

※学区外就学及び転入・転出など社会動態による児童生徒数の増減等は、加味していない。

※特別支援学級の児童生徒数は、推計値に含めていない。

※復興公営住宅や防災集団移転用地等への転居予定による児童生徒数の増減は、平成29年度末の状況を反映している。

渡波中学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	3	79	4	113	3	98	3	96	4	107	3	89	3	76	3	104	4	119	3	104	3	104
2	3	98	2	79	3	113	3	98	3	96	3	107	3	89	2	76	3	104	3	119	3	104
3	3	95	3	98	2	79	3	113	3	98	3	96	3	107	3	89	2	76	3	104	3	119
計	9	272	9	290	8	290	9	307	10	301	9	292	9	272	8	269	9	299	9	327	9	327

渡波小学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	1	29	2	54	2	54	2	55	2	56	1	34	2	46	2	44	2	40	2	42	2	40
2	2	43	1	29	2	54	2	54	2	55	2	56	1	34	2	46	2	44	2	40	2	42
3	2	46	2	43	1	29	2	54	2	54	2	55	2	56	1	34	2	46	2	44	1	40
4	2	48	2	46	2	43	1	29	2	54	2	54	2	55	2	56	1	34	2	46	2	44
5	1	35	2	48	2	46	2	43	1	29	2	54	2	54	2	55	2	56	1	34	2	46
6	1	38	1	35	2	48	2	46	2	43	1	29	2	54	2	54	2	55	2	56	1	34
計	9	239	10	255	11	274	11	281	11	291	10	282	11	299	11	289	11	275	11	262	10	246

鹿妻小学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	2	47	2	50	2	65	2	49	2	48	2	55	2	46	2	48	2	48	2	46	2	46
2	2	46	2	47	2	50	2	65	2	49	2	48	2	55	2	46	2	48	2	48	2	46
3	2	61	2	46	2	47	2	50	2	65	2	49	2	48	2	55	2	46	2	48	2	48
4	2	48	2	61	2	46	2	47	2	50	2	65	2	49	2	48	2	55	2	46	2	48
5	2	63	2	48	2	61	2	46	2	47	2	50	2	65	2	49	2	48	2	55	2	46
6	2	75	2	63	2	48	2	61	2	46	2	47	2	50	2	65	2	49	2	48	2	55
計	12	340	12	315	12	317	12	318	12	305	12	314	12	313	12	311	12	294	12	291	12	289

8 稲井中学校区

(1) 学校の沿革

【中学校】

学 校 名	創立年月日	沿 革
稲井中学校	昭和22年4月22日	昭和22年開校し、現在に至る。

【小学校】

学 校 名	創立年月日	沿 革
稲井小学校	昭和56年4月1日	昭和56年3月稲井小学校、大瓜小学校、真野小学校、金山小学校が統合され、同年4月現在地に新設校として開校し、現在に至る。

(2) 学級数

■ 稲井中学校

平成30年5月1日現在の学級数は5学級で標準的規模を下回っています。向こう10年間の推計では、令和2年度から令和10年度までは6学級で推移し、全学年でクラス替えができ、同学年に複数教員を配置できる規模が継続する見込みです。

■ 稲井小学校

平成30年5月1日現在の学級数は12学級で標準的規模です。向こう10年間の推計では、令和7年度には11学級と標準的規模を下回り、令和10年度には10学級に減少します。クラス替えのできない学年のある状況が継続する見込みです。

(3) 児童生徒数

■ 稲井中学校

平成30年5月1日現在の生徒数は146名です。向こう10年間の推計では、生徒数の年平均増減率はプラス1.6%であり、令和10年度には166名となる見込みです。

■ 稲井小学校

平成30年5月1日現在の児童数は330名です。向こう10年間の推計では、児童数の年平均増減率はマイナス2.9%であり、令和10年度には245名となる見込みです。

(4) 学区再編計画（素案）保護者説明会の意見等（平成29年度開催）

■ 稲井中学校、稲井小学校

保護者説明会は開催せず、稲井中学校区の学区再編の一つの考え方として、「稲井中学校、稲井小学校とも現状維持とする」ことについて、保護者に情報提供を行いました。

(5) 統合に向けた検討の方向性

■ 稲井中学校

向こう10年間の推計では、複数学級が継続する見込みであり、現状維持とします。

■ 稲井小学校

向こう10年間の推計では、複数学級が継続する見込みであり、現状維持とします。

《普通学級における学級数及び児童生徒数の長期見込み》

※各年度の左列：学級数、右列：児童生徒数（平成30年5月1日現在）

※網掛け部分は、まだ生まれていない児童の推計値

※学区外就学及び転入・転出など社会動態による児童生徒数の増減等は、加味していない。

※特別支援学級の児童生徒数は、推計値に含めていない。

※復興公営住宅や防災集団移転用地等への転居予定による児童生徒数の増減は、平成29年度末の状況を反映している。

稲井中学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	2	50	2	50	2	64	2	56	2	56	2	56	2	48	2	62	2	67	2	52	2	47
2	1	36	2	50	2	50	2	64	2	56	2	56	2	56	2	48	2	62	2	67	2	52
3	2	60	1	36	2	50	2	50	2	64	2	56	2	56	2	56	2	48	2	62	2	67
計	5	146	5	136	6	164	6	170	6	176	6	168	6	160	6	166	6	177	6	181	6	166

稲井小学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	2	48	2	62	2	67	2	52	2	47	2	40	2	44	2	42	2	40	2	40	2	39
2	2	56	2	48	2	62	2	67	2	52	2	47	2	40	2	44	2	42	2	40	2	40
3	2	56	2	56	2	48	2	62	2	67	2	52	2	47	1	40	2	44	2	42	1	40
4	2	56	2	56	2	56	2	48	2	62	2	67	2	52	2	47	1	40	2	44	2	42
5	2	64	2	56	2	56	2	56	2	48	2	62	2	67	2	52	2	47	1	40	2	44
6	2	50	2	64	2	56	2	56	2	56	2	48	2	62	2	67	2	52	2	47	1	40
計	12	330	12	342	12	345	12	341	12	332	12	316	12	312	11	292	11	265	11	253	10	245

9 山下中学校区

(1) 学校の沿革

【中学校】

学 校 名	創立年月日	沿 革
山下中学校	昭和57年4月1日	昭和57年石巻中学校、住吉中学校から分離開校し、現在に至る。

【小学校】

学 校 名	創立年月日	沿 革
貞山小学校	昭和48年4月1日	昭和48年山下小学校から分離開校し、現在に至る。
中里小学校	昭和56年4月1日	昭和56年住吉小学校、開北小学校から分離開校し、現在に至る。

(2) 学級数

■ 山下中学校

平成30年5月1日現在の学級数は8学級で標準的規模を下回っています。向こう10年間の推計では、令和10年度まで6～7学級で推移し、全学年でクラス替えができ、同学年に複数教員を配置できる規模が継続する見込みです。

■ 貞山小学校

平成30年5月1日現在の学級数は6学級で標準的規模を下回っています。向こう10年間の推計では、令和10年度まで6～7学級で推移し、クラス替えのできない学年のある状況が継続する見込みです。

■ 中里小学校

平成30年5月1日現在の学級数は10学級で標準的規模を下回っています。向こう10年間の推計では、令和2年度には6学級に減少し、令和10年度まで6学級で推移します。全学年でクラス替えができない状況が継続する見込みです。

(3) 児童生徒数

■ 山下中学校

平成30年5月1日現在の生徒数は219名です。向こう10年間の推計では、生徒数の年平均増減率はマイナス0.7%であり、令和10年度には200名となる見込みです。

■ 貞山小学校

平成30年5月1日現在の児童数は181名です。向こう10年間の推計では、児童数の年平均増減率はマイナス0.2%であり、令和10年度には175名となる見込みです。

■ 中里小学校

平成30年5月1日現在の児童数は226名です。向こう10年間の推計では、児童数の年平均増減率はマイナス1.2%であり、令和10年度には199名となる見込みです。

(4) 学区再編計画（素案）保護者説明会の意見等（平成29年度開催）

■ 山下中学校、貞山小学校、中里小学校

保護者説明会は開催せず、山下中学校区の学区再編の一つの考え方として、「山下中学校、貞山小学校、中里小学校とも現状維持とする」ことについて、保護者に情報提供を行いました。

(5) 統合に向けた検討の方向性

■ 山下中学校

向こう10年間の推計では、複数学級が継続する見込みであり、現状維持とします。

■ 貞山小学校、中里小学校

向こう10年間の推計では、貞山小学校については、児童数は横ばい傾向ですが、学級数は全学年が単学級まで減少する見込みです。

中里小学校については、児童数は減少傾向で、学級数は全学年が単学級まで減少する見込みです。

このため、学級数の観点からいずれも今回の検討対象となるところですが、学区再編計画（素案）においては、両校とも現状維持としていたことから、新たに教育委員会で検討し、地区別計画に位置付けるものとします。

《普通学級における学級数及び児童生徒数の長期見込み》

※各年度の左列：学級数、右列：児童生徒数（平成30年5月1日現在）

※網掛け部分は、まだ生まれていない児童の推計値

※学区外就学及び転入・転出など社会動態による児童生徒数の増減等は、加味していない。

※特別支援学級の児童生徒数は、推計値に含めていない。

※復興公営住宅や防災集団移転用地等への転居予定による児童生徒数の増減は、平成29年度末の状況を反映している。

山下中学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	3	76	3	88	2	70	2	65	2	57	2	67	2	60	2	65	3	82	2	52	2	66
2	2	61	2	76	3	88	2	70	2	65	2	57	2	67	2	60	2	65	3	82	2	52
3	3	82	2	61	2	76	3	88	2	70	2	65	2	57	2	67	2	60	2	65	3	82
計	8	219	7	225	7	234	7	223	6	192	6	189	6	184	6	192	7	207	7	199	7	200

貞山小学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	1	27	1	33	2	48	1	23	1	34	1	27	1	32	1	30	1	29	1	29	1	28
2	1	34	1	27	1	33	2	48	1	23	1	34	1	27	1	32	1	30	1	29	1	29
3	1	25	1	34	1	27	1	33	2	48	1	23	1	34	1	27	1	32	1	30	1	29
4	1	28	1	25	1	34	1	27	1	33	2	48	1	23	1	34	1	27	1	32	1	30
5	1	28	1	28	1	25	1	34	1	27	1	33	2	48	1	23	1	34	1	27	1	32
6	1	39	1	28	1	28	1	25	1	34	1	27	1	33	2	48	1	23	1	34	1	27
計	6	181	6	175	7	195	7	190	7	199	7	192	7	197	7	194	6	175	6	181	6	175

中里小学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	1	33	1	32	1	34	1	29	1	32	1	35	1	35	1	33	1	33	1	32	1	31
2	2	33	1	33	1	32	1	34	1	29	1	32	1	35	1	35	1	33	1	33	1	32
3	1	32	1	33	1	33	1	32	1	34	1	29	1	32	1	35	1	35	1	33	1	33
4	2	37	1	32	1	33	1	33	1	32	1	34	1	29	1	32	1	35	1	35	1	33
5	2	42	1	37	1	32	1	33	1	33	1	32	1	34	1	29	1	32	1	35	1	35
6	2	49	2	42	1	37	1	32	1	33	1	33	1	32	1	34	1	29	1	32	1	35
計	10	226	7	209	6	201	6	193	6	193	6	195	6	197	6	198	6	197	6	200	6	199

10 青葉中学校区

(1) 学校の沿革

【中学校】

学 校 名	創立年月日	沿 革
青葉中学校	平成2年4月1日	平成2年門脇中学校、蛇田中学校から分離開校。平成9年度の学区見直しにより、釜小学校区のみ青葉中学校区となり、現在に至る。

【小学校】

学 校 名	創立年月日	沿 革
釜小学校	昭和21年5月7日	明治初期の下釜地区普誓寺での寺子屋教育から明治20年の石巻小学校分校、明治25年の門脇小学校分校を経て、昭和21年独立。昭和55年4月大街道小学校開校に伴い学区分割し、現在に至る。

(2) 学級数

■ 青葉中学校

平成30年5月1日現在の学級数は8学級で標準的規模を下回っています。向こう10年間の推計では、令和10年度まで6～7学級で推移し、全学年でクラス替えができ、同学年に複数教員を配置できる規模が継続する見込みです。

■ 釜小学校

平成30年5月1日現在の学級数は14学級で標準的規模を上回っています。向こう10年間の推計では、令和10年度まで12～16学級で推移し、標準的規模が継続する見込みです。

(3) 児童生徒数

■ 青葉中学校

平成30年5月1日現在の生徒数は219名です。向こう10年間の推計では、生徒数の年平均増減率はプラス0.1%であり、令和10年度には216名となる見込みです。

■ 釜小学校

平成30年5月1日現在の児童数は404名です。向こう10年間の推計では、児童数の年平均増減率はプラス1.6%であり、令和10年度には471名となる見込みです。

(4) 学区再編計画（素案）保護者説明会の意見等（平成29年度開催）

■ 青葉中学校、釜小学校

保護者説明会は開催せず、青葉中学校区の学区再編の一つの考え方として、「青葉中学校、釜小学校とも現状維持とする」ことについて、保護者に情報提供を行いました。

(5) 統合に向けた検討の方向性

■ 青葉中学校

向こう10年間の推計では、複数学級が継続する見込みであり、現状維持とします。

■ 釜小学校

向こう10年間の推計では、複数学級が継続する見込みであり、現状維持とします。

《普通学級における学級数及び児童生徒数の長期見込み》

※各年度の左列：学級数、右列：児童生徒数（平成30年5月1日現在）

※網掛け部分は、まだ生まれていない児童の推計値

※学区外就学及び転入・転出など社会動態による児童生徒数の増減等は、加味していない。

※特別支援学級の児童生徒数は、推計値に含めていない。

※復興公営住宅や防災集団移転用地等への転居予定による児童生徒数の増減は、平成29年度末の状況を反映している。

青葉中学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	2	57	2	69	3	77	2	68	2	49	2	70	2	69	2	62	3	78	2	57	3	81
2	3	89	2	57	2	69	2	77	2	68	2	49	2	70	2	69	2	62	2	78	2	57
3	3	73	3	89	2	57	2	69	2	77	2	68	2	49	2	70	2	69	2	62	2	78
計	8	219	7	215	7	203	6	214	6	194	6	187	6	188	6	201	7	209	6	197	7	216

釜小学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	3	70	2	62	3	78	2	57	3	81	3	76	3	87	3	78	3	77	3	78	3	75
2	3	71	2	69	2	62	3	78	2	57	3	81	3	76	3	87	3	78	3	77	3	78
3	2	49	2	70	2	69	2	62	2	78	2	57	3	81	2	76	3	87	2	78	2	77
4	2	68	2	49	2	70	2	69	2	62	2	78	2	57	3	81	2	76	3	87	2	78
5	2	77	2	68	2	49	2	70	2	69	2	62	2	78	2	57	3	81	2	76	3	87
6	2	69	2	77	2	68	2	49	2	70	2	69	2	62	2	78	2	57	3	81	2	76
計	14	404	12	395	13	396	13	385	13	417	14	423	15	441	15	457	16	456	16	477	15	471

11 万石浦中学校区

(1) 学校の沿革

【中学校】

学 校 名	創立年月日	沿 革
万石浦中学校	平成6年4月1日	平成6年渡波中学校から分離開校し、現在に至る。

【小学校】

学 校 名	創立年月日	沿 革
万石浦小学校	昭和53年4月1日	昭和53年渡波小学校から分離開校。平成元年4月小竹小学校、平成30年4月荻浜小学校と統合し、現在に至る。

(2) 学級数

■ 万石浦中学校

平成30年5月1日現在の学級数は6学級で標準的規模を下回っています。向こう10年間の推計では、令和7年度から令和10年度までは5学級で推移し、クラス替えのできない学年のある状況が継続する見込みです。

■ 万石浦小学校

平成30年5月1日現在の学級数は12学級で標準的規模です。向こう10年間の推計では、令和2年度には11学級と標準的規模を下回り、令和10年度には6学級まで減少し、クラス替えのできない学年のある状況が継続する見込みです。

(3) 児童生徒数

■ 万石浦中学校

平成30年5月1日現在の生徒数は193名です。向こう10年間の推計では、生徒数の年平均増減率はマイナス4.8%であり、令和10年度には116名となる見込みです。

■ 万石浦小学校

平成30年5月1日現在の児童数は301名です。向こう10年間の推計では、児童数の年平均増減率はマイナス3.7%であり、令和10年度には206名となる見込みです。

(4) 学区再編計画（素案）保護者説明会の意見等（平成29年度開催）

■ 万石浦中学校、万石浦小学校（合同開催）

学区再編計画（素案）の保護者説明会において、万石浦中学校区の学区再編の一つの考え方として、「平成32年度を目途に、万石浦中学校と荻浜中学校の統合を進める」こと、また、「平成32年度を目途に、万石浦小学校と東浜小学校の統合を進める」ことを提示し意見交換をしましたが、特に意見等はありませんでした。

(5) 統合に向けた検討の方向性

■ 万石浦中学校

向こう10年間の推計では、万石浦中学校については、一部の学年で複数学級が継続する見込みですが、荻浜中学校については、生徒数は減少傾向で、学級数は全学年で単学級が継続する見込みであり、これまでの保護者説明会等の経緯を踏まえ、万石浦中学校と荻浜中学校の今後の学校のあり方及びその一つの考え方として、両校の統合について地区懇談会を開催して検討します。

■ 万石浦小学校

向こう10年間の推計では、万石浦小学校については、児童数は減少傾向で、学級数は全学年が単学級まで減少する見込みです。

東浜小学校についても、児童数は減少傾向で、複式学級が継続する見込みであり、これまでの保護者説明会等の経緯を踏まえ、万石浦小学校と東浜小学校の今後の学校のあり方及びその一つの考え方として、両校の統合について地区懇談会を開催して検討します。

ただし、両校が統合した場合も、児童数は減少傾向で、学級数は全学年が単学級まで減少する見込みであるため、新たに教育委員会で検討し、地区別計画に位置付けるものとします。

《普通学級における学級数及び児童生徒数の長期見込み》

※各年度の左列：学級数、右列：児童生徒数（平成30年5月1日現在）

※網掛け部分は、まだ生まれていない児童の推計値

※学区外就学及び転入・転出など社会動態による児童生徒数の増減等は、加味していない。

※特別支援学級の児童生徒数は、推計値に含めていない。

※復興公営住宅や防災集団移転用地等への転居予定による児童生徒数の増減は、平成29年度末の状況を反映している。

万石浦中学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	2	58	2	53	2	42	2	58	2	58	2	52	2	38	2	47	2	44	1	33	2	39
2	2	71	2	58	2	53	2	42	2	58	2	58	2	52	1	38	2	47	2	44	1	33
3	2	64	2	71	2	58	2	53	2	42	2	58	2	58	2	52	1	38	2	47	2	44
計	6	193	6	182	6	153	6	153	6	158	6	168	6	148	5	137	5	129	5	124	5	116

万石浦小学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	2	38	2	47	2	44	1	33	2	39	1	33	2	37	1	35	1	34	1	34	1	33
2	2	52	2	38	2	47	2	44	1	33	2	39	1	33	2	37	1	35	1	34	1	34
3	2	58	2	52	1	38	2	47	2	44	1	33	1	39	1	33	1	37	1	35	1	34
4	2	58	2	58	2	52	1	38	2	47	2	44	1	33	1	39	1	33	1	37	1	35
5	2	42	2	58	2	58	2	52	1	38	2	47	2	44	1	33	1	39	1	33	1	37
6	2	53	2	42	2	58	2	58	2	52	1	38	2	47	2	44	1	33	1	39	1	33
計	12	301	12	295	11	297	10	272	10	253	9	234	9	233	8	221	6	211	6	212	6	206

《統合を想定した場合の学級数及び児童生徒数の長期見込み》

※各年度の左列：学級数、右列：児童生徒数（平成30年5月1日現在）

※網掛け部分は、まだ生まれていない児童の推計値

※学区外就学及び転入・転出など社会動態による児童生徒数の増減等は、加味していない。

※特別支援学級の児童生徒数は、推計値に含めていない。

※復興公営住宅や防災集団移転用地等への転居予定による児童生徒数の増減は、平成29年度末の状況を反映している。

「万石浦中学校」と「荻浜中学校」が統合した場合

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	—	—	—	—	2	45	2	60	2	60	2	54	2	39	2	48	2	44	1	35	2	40
2	—	—	—	—	2	57	2	45	2	60	2	60	2	54	1	39	2	48	2	44	1	35
3	—	—	—	—	2	60	2	57	2	45	2	60	2	60	2	54	1	39	2	48	2	44
計	—	—	—	—	6	162	6	162	6	165	6	174	6	153	5	141	5	131	5	127	5	119

万石浦中学校の普通教室利用可能数：7（最大）

荻浜中学校の普通教室利用可能数：4（最大）

※特別教室、特別支援教室等は平成30年度の室数でカウントし、この室数に含まない。

「万石浦小学校」と「東浜小学校」が統合した場合

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	—	—	—	—	2	44	1	35	2	40	1	33	2	39	2	36	1	35	1	35	1	34
2	—	—	—	—	2	48	2	44	1	35	2	40	1	33	2	39	2	36	1	35	1	35
3	—	—	—	—	1	39	2	48	2	44	1	35	1	40	1	33	1	39	1	36	1	35
4	—	—	—	—	2	54	1	39	2	48	2	44	1	35	1	40	1	33	1	39	1	36
5	—	—	—	—	2	60	2	54	1	39	2	48	2	44	1	35	1	40	1	33	1	39
6	—	—	—	—	2	60	2	60	2	54	1	39	2	48	2	44	1	35	1	40	1	33
計	—	—	—	—	11	305	10	280	10	260	9	239	9	239	9	227	7	218	6	218	6	212

万石浦小学校の普通教室利用可能数：14（最大）

東浜小学校の普通教室利用可能数：5（最大）

※特別教室、特別支援教室等は平成30年度の室数でカウントし、この室数に含まない。

河 北 地 区

12 飯野川中学校区

(1) 学校の沿革

【中学校】

学 校 名	創 立 年 月 日	沿 革
飯野川中学校	昭和22年4月18日	昭和22年開校し、現在に至る。

【小学校】

学 校 名	創 立 年 月 日	沿 革
飯野川小学校	明治6年5月5日	明治6年相野谷小学校として開校。明治12年飯野川小学校と改称。昭和25年同校の皿貝分校が独立し、飯野川第二小学校開校に伴い、校名を飯野川第一小学校に改称。平成27年4月飯野川第二小学校と統合し、統合後の校名を飯野川小学校とし、現在に至る。

(2) 学級数

■ 飯野川中学校

平成30年5月1日現在の学級数は3学級で標準的規模を下回っています。向こう10年間の推計では、令和10年度まで3学級で推移し、全学年でクラス替えができない状況が継続する見込みです。

■ 飯野川小学校

平成30年5月1日現在の学級数は6学級で標準的規模を下回っています。向こう10年間の推計では、令和10年度まで6学級で推移し、全学年でクラス替えができない状況が継続する見込みです。

(3) 児童生徒数

■ 飯野川中学校

平成30年5月1日現在の生徒数は83名です。向こう10年間の推計では、生徒数の年平均増減率はマイナス0.1%であり、令和10年度には82名となる見込みです。

■ 飯野川小学校

平成30年5月1日現在の児童数は185名です。向こう10年間の推計では、児童数の年平均増減率はマイナス6.0%であり、令和10年度には99名となる見込みです。

(4) 学区再編計画（素案）保護者説明会の意見等（平成29年度開催）

学区再編計画（素案）の保護者説明会において、飯野川中学校区の学区再編の一つの考え方として、「平成32年度を目途に、飯野川中学校と河北中学校の統合を進める」こと、また、「飯野川小学校は、現状維持とする」ことを提示し、意見交換をしました。なお、その主な意見等は次のとおりでした。

■ 飯野川中学校、飯野川小学校（合同開催）

- ・ 中学校は、地区内で先に統合した例から、使用する校舎、通学路の整備及びスクールバスの設定について市教委の案を示されなければPTA総会にかけられず、統合に向けた意見集約を図ることができない。
- ・ 環境整備に関することは、小さなことから計画に盛り込まなければ進まないし、反故にされるような案件も出てくる。
- ・ 両中学校の現状を直接確認してから、統合後の使用校舎を示してほしい。
- ・ 中学校は通学環境を整備してから、統合を検討すべきである。
- ・ 現状においては、少ないながらもなんとかなっているのですが、中学校の統合に関する危機感は希薄である。
- ・ 教育委員会で具体的な案を示して指導していかないと、議論は進まない。

(5) 統合に向けた検討の方向性

■ 飯野川中学校

向こう10年間の推計では、生徒数は横ばい傾向で、学級数は全学年で単学級が継続する見込みであり、これまでの保護者説明会等の経緯を踏まえ、飯野川中学校と河北中学校の今後の学校のあり方及びその一つの考え方としての両校の統合について、地区懇談会を開催して検討します。

■ 飯野川小学校

向こう10年間の推計では、複式学級が生じない見込みであり、現状維持とします。

《普通学級における学級数及び児童生徒数の長期見込み》

※各年度の左列：学級数、右列：児童生徒数（平成30年5月1日現在）

※網掛け部分は、まだ生まれていない児童の推計値

※学区外就学及び転入・転出など社会動態による児童生徒数の増減等は、加味していない。

※特別支援学級の児童生徒数は、推計値に含めていない。

※復興公営住宅や防災集団移転用地等への転居予定による児童生徒数の増減は、平成29年度末の状況を反映している。

飯野川中学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	1	22	1	31	1	32	1	33	1	28	1	33	1	28	1	26	1	31	1	28	1	23
2	1	29	1	22	1	31	1	32	1	33	1	28	1	33	1	28	1	26	1	31	1	28
3	1	32	1	29	1	22	1	31	1	32	1	33	1	28	1	33	1	28	1	26	1	31
計	3	83	3	82	3	85	3	96	3	93	3	94	3	89	3	87	3	85	3	85	3	82

飯野川小学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	1	28	1	26	1	31	1	28	1	23	1	18	1	15	1	18	1	16	1	16	1	16
2	1	33	1	28	1	26	1	31	1	28	1	23	1	18	1	15	1	18	1	16	1	16
3	1	28	1	33	1	28	1	26	1	31	1	28	1	23	1	18	1	15	1	18	1	16
4	1	33	1	28	1	33	1	28	1	26	1	31	1	28	1	23	1	18	1	15	1	18
5	1	32	1	33	1	28	1	33	1	28	1	26	1	31	1	28	1	23	1	18	1	15
6	1	31	1	32	1	33	1	28	1	33	1	28	1	26	1	31	1	28	1	23	1	18
計	6	185	6	180	6	179	6	174	6	169	6	154	6	141	6	133	6	118	6	106	6	99

《統合を想定した場合の学級数及び生徒数の長期見込み》

※各年度の左列：学級数、右列：生徒数（平成30年5月1日現在）

※学区外就学及び転入・転出など社会動態による生徒数の増減等は、加味していない。

※特別支援学級の生徒数は、推計値に含めていない。

※復興公営住宅や防災集団移転用地等への転居予定による生徒数の増減は、平成29年度末の状況を反映している。

「飯野川中学校」と「河北中学校」が統合した場合

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	—	—	—	—	2	64	3	80	2	57	3	79	2	68	2	70	3	75	2	70	2	65
2	—	—	—	—	3	89	2	64	2	80	2	57	2	79	2	68	2	70	2	75	2	70
3	—	—	—	—	2	66	3	89	2	64	2	80	2	57	2	79	2	68	2	70	2	75
計	—	—	—	—	7	219	8	233	6	201	7	216	6	204	6	217	7	213	6	215	6	210

飯野川中学校の普通教室利用可能数：7（最大）

河北中学校の普通教室利用可能数：9（最大）

※特別教室、特別支援教室等は平成30年度の室数でカウントし、この室数に含まない。

13 河北中学校区

(1) 学校の沿革

【中学校】

学 校 名	創立年月日	沿 革
河北中学校	昭和56年4月1日	昭和56年大谷地中学校と二俣中学校が統合し、現在地に新設校として開校。平成25年4月大川中学校と統合し、現在に至る。

【小学校】

学 校 名	創立年月日	沿 革
大谷地小学校	明治6年5月19日	明治6年飯野小学校として開校。明治25年小船越小学校と統合し、統合後の校名を大谷地小学校とした。昭和11年校舎を現在地に建設し、現在に至る。
二俣小学校	明治6年6月1日	明治6年大森小学校として開校。昭和9年校舎を現在地に移設。昭和22年二俣小学校に改称。平成30年4月大川小学校と統合し、現在に至る。

(2) 学級数

■ 河北中学校

平成30年5月1日現在の学級数は6学級で標準的規模を下回っています。向こう10年間の推計では、令和8年度まで4～5学級で推移しますが、令和9年度には再び6学級に戻り、全学年でクラス替えができ、同学年に複数教員を配置できる規模となる見込みです。

■ 大谷地小学校

平成30年5月1日現在の学級数は6学級で標準的規模を下回っています。向こう10年間の推計では、令和10年度まで6学級で推移し、全学年でクラス替えができない状況が継続する見込みです。

■ 二俣小学校

平成30年5月1日現在の学級数は6学級で標準的規模を下回っています。向こう10年間の推計では、令和10年度まで6学級で推移し、全学年でクラス替えができない状況が継続する見込みです。

(3) 児童生徒数

■ 河北中学校

平成30年5月1日現在の生徒数は154名です。向こう10年間の推計では、生徒数の年平均増減率はマイナス1.2%であり、令和10年度には128名となる見込みです。

■ 大谷地小学校

平成30年5月1日現在の児童数は126名です。向こう10年間の推計では、児童数の年平均増減率はマイナス4.3%であり、令和10年度には80名となる見込みです。

■ 二俣小学校

平成30年5月1日現在の児童数は113名です。向こう10年間の推計では、児童数の年平均増減率はマイナス2.2%であり、令和10年度には88名となる見込みです。

(4) 学区再編計画（素案）保護者説明会の意見等（平成29年度開催）

学区再編計画（素案）の保護者説明会において、河北中学校区の学区再編の一つの考え方として、「平成32年度を目途に、河北中学校と飯野川中学校の統合を進める」こと、また、「大谷地小学校は、現状維持とする」こと、さらに、「二俣小学校は、現状維持とする」ことを提示し、意見交換をしました。なお、その主な意見等は次のとおりでした。

■ 河北中学校、大谷地小学校、二俣小学校（合同開催）

- ・ 河北中学校の校舎を使用する場合、坂道の拡幅等による車の乗入れを検討してほしい。

(5) 統合に向けた検討の方向性

■ 河北中学校

向こう10年間の推計では、河北中学校については、複数学級が継続する見込みですが、飯野川中学校については、生徒数は横ばい傾向で、学級数は全学年で単学級が継続する見込みであり、これまでの保護者説明会等の経緯を踏まえ、河北中学校と飯野川中学校の今後の学校のあり方及びその一つの考え方としての両校の統合について、地区懇談会を開催して検討します。

■ 大谷地小学校

向こう10年間の推計では、複式学級が生じない見込みであり、現状維持とします。

■ 二俣小学校

向こう10年間の推計では、複式学級が生じない見込みであり、現状維持とします。

《普通学級における学級数及び児童生徒数の長期見込み》

※各年度の左列：学級数、右列：児童生徒数（平成30年5月1日現在）

※網掛け部分は、まだ生まれていない児童の推計値

※学区外就学及び転入・転出など社会動態による児童生徒数の増減等は、加味していない。

※特別支援学級の児童生徒数は、推計値に含めていない。

※復興公営住宅や防災集団移転用地等への転居予定による児童生徒数の増減は、平成29年度末の状況を反映している。

河北中学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	2	41	2	58	1	32	2	47	1	29	2	46	2	40	2	44	2	44	2	42	2	42
2	2	60	2	44	2	58	1	32	2	47	1	29	2	46	1	40	2	44	2	44	2	42
3	2	53	2	64	2	44	2	58	1	32	2	47	1	29	2	46	1	40	2	44	2	44
計	6	154	6	166	5	134	5	137	4	108	5	122	5	115	5	130	5	128	6	130	6	128

大谷地小学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	1	16	1	18	1	26	1	20	1	14	1	12	1	16	1	13	1	13	1	13	1	13
2	1	25	1	21	1	18	1	26	1	20	1	14	1	12	1	16	1	13	1	13	1	13
3	1	18	1	27	1	21	1	18	1	26	1	20	1	14	1	12	1	16	1	13	1	13
4	1	25	1	18	1	27	1	21	1	18	1	26	1	20	1	14	1	12	1	16	1	13
5	1	14	1	26	1	18	1	27	1	21	1	18	1	26	1	20	1	14	1	12	1	16
6	1	28	1	14	1	26	1	18	1	27	1	21	1	18	1	26	1	20	1	14	1	12
計	6	126	6	124	6	136	6	130	6	126	6	111	6	106	6	101	6	88	6	81	6	80

二俣小学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	1	19	1	26	1	18	1	22	1	28	1	16	1	11	1	18	1	14	1	14	1	15
2	1	19	1	19	1	26	1	18	1	22	1	28	1	16	1	11	1	18	1	14	1	14
3	1	11	1	19	1	19	1	26	1	18	1	22	1	28	1	16	1	11	1	18	1	14
4	1	21	1	11	1	19	1	19	1	26	1	18	1	22	1	28	1	16	1	11	1	18
5	1	18	1	21	1	11	1	19	1	19	1	26	1	18	1	22	1	28	1	16	1	11
6	1	25	1	18	1	21	1	11	1	19	1	19	1	26	1	18	1	22	1	28	1	16
計	6	113	6	114	6	114	6	115	6	132	6	129	6	121	6	113	6	109	6	101	6	88

《統合を想定した場合の学級数及び生徒数の長期見込み》

※各年度の左列：学級数、右列：生徒数（平成30年5月1日現在）

※学区外就学及び転入・転出など社会動態による生徒数の増減等は、加味していない。

※特別支援学級の生徒数は、推計値に含めていない。

※復興公営住宅や防災集団移転用地等への転居予定による生徒数の増減は、平成29年度末の状況を反映している。

「河北中学校」と「飯野川中学校」が統合した場合

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	—	—	—	—	2	64	3	80	2	57	3	79	2	68	2	70	3	75	2	70	2	65
2	—	—	—	—	3	89	2	64	2	80	2	57	2	79	2	68	2	70	2	75	2	70
3	—	—	—	—	2	66	3	89	2	64	2	80	2	57	2	79	2	68	2	70	2	75
計	—	—	—	—	7	219	8	233	6	201	7	216	6	204	6	217	7	213	6	215	6	210

河北中学校の普通教室利用可能数：9（最大）

飯野川中学校の普通教室利用可能数：7（最大）

※特別教室、特別支援教室等は平成30年度の室数でカウントし、この室数に含まない。

雄 勝 地 区

14 雄勝中学校区

(1) 学校の沿革

【中学校】

学 校 名	創 立 年 月 日	沿 革
雄勝中学校	昭和22年	昭和22年開校。昭和57年4月船越中学校と統合。平成29年4月大須中学校と統合し、統合後の校名を雄勝中学校として開校し、現在に至る。

【小学校】

学 校 名	創 立 年 月 日	沿 革
雄勝小学校	明治6年5月2日	明治6年開校。明治31年9月上雄勝地区に校舎建設。平成14年4月水浜小学校と統合。平成25年4月船越小学校と統合。平成29年4月大須小学校と統合し、統合後の校名を雄勝小学校として現在地に開校し、現在に至る。

※ 雄勝地区については、学区再編が完了しています。

河 南 地 区

15 河南東中学校区

(1) 学校の沿革

【中学校】

学 校 名	創 立 年 月 日	沿 革
河南東中学校	平成元年4月8日	平成元年鹿又中学校、須江中学校、前谷地中学校の一部（和渕小学校分）が統合され、現在地に新設校として開校し、現在に至る。

【小学校】

学 校 名	創 立 年 月 日	沿 革
須江小学校	明治6年7月28日	明治6年開校。明治22年深谷小学校の分教場となる。明治34年深谷小学校から独立し、現在に至る。
和渕小学校	明治6年6月5日	明治6年開校し、現在に至る。
鹿又小学校	明治6年3月25日	明治6年開校し、現在に至る。

(2) 学級数

■ 河南東中学校

平成30年5月1日現在の学級数は9学級で標準的規模です。向こう10年間の推計では、令和10年度まで9～10学級で推移し、全学年でクラス替えができ、同学年に複数教員を配置できる規模が継続する見込みです。

■ 須江小学校

平成30年5月1日現在の学級数は11学級で標準的規模を下回っています。向こう10年間の推計では、令和7年度には6学級まで減少し、全学年でクラス替えができない状況が継続する見込みです。

■ 和渕小学校

平成30年5月1日現在の学級数は6学級で標準的規模を下回っています。向こう10年間の推計では、令和7年度には5学級に減少し、一部の学年で複式学級が継続する見込みです。

■ 鹿又小学校

平成30年5月1日現在の学級数は9学級で標準的規模を下回っています。向こう10年間の推計では、令和4年度には12学級まで増加し標準的規模となりますが、令和10年度には6学級まで減少し、クラス替えのできない学年のある状況が継続する見込みです。

(3) 児童生徒数

■ 河南東中学校

平成30年5月1日現在の生徒数は285名です。向こう10年間の推計では、生徒数の年平均増減率はプラス0.1%であり、令和10年度には284名となる見込みです。

■ 須江小学校

平成30年5月1日現在の児童数は253名です。向こう10年間の推計では、児童数の年平均増減率はマイナス5.7%であり、令和10年度には139名となる見込みです。

■ 和渕小学校

平成30年5月1日現在の児童数は99名です。向こう10年間の推計では、児童数の年平均増減率はマイナス8.3%であり、令和10年度には40名となる見込みです。

■ 鹿又小学校

平成30年5月1日現在の児童数は262名です。向こう10年間の推計では、児童数の年平均増減率はマイナス3.3%であり、令和10年度には183名となる見込みです。

(4) 学区再編計画（素案）保護者説明会の意見等（平成29年度開催）

学区再編計画（素案）の保護者説明会において、河南東中学校区の学区再編の一つの考え方として、「平成36年度を目途に、和渕小学校と前谷地小学校の統合を進める」こと、また、「河南東中学校、須江小学校、鹿又小学校は、現状維持とする」ことを提示し、意見交換をしました。なお、その主な意見等は次のとおりでした。

■ 河南東中学校、須江小学校、鹿又小学校

- ・ 保護者説明会は開催せず、保護者に情報提供を行いました。

■ 和渕小学校

- ・ 和渕小学校を残すために地域は何をすべきか、示してほしい。
- ・ 和渕小学校は、地域との結びつきにより文部科学省の表彰を受けている。統合となればこれまでのように学校との結びつきが持てなくなる。
- ・ 子供育成会の発祥の地であり、地域が子どもとの関わりに率先してきたと自負している。もっと地域の実情を見て計画を見直してほしい。
- ・ 小学校だけでなく、保育所を含めた一貫校のような考え方はできないか検討してほしい。
- ・ 和渕小学校は、地域のシンボルであり、地域と学校は良好な関係を続けている。今のままで十分であるし、これからも地域が子どもたちを支え続ける。
- ・ 和渕地区は優秀な人材を多く輩出している地域であり、子どもたちに対する関わりも石巻地方では先進的に協力してきた地区である。現状においても、和渕小学校の子どもたちの学力は優秀であり、地域の関わりと学校での学習が良い状態で機能している。
- ・ 統合を進めるのであれば、アンケート等も取ってほしい。

※ 説明会参加者の総意は、統合に反対である旨の表明がされました。

(5) 統合に向けた検討の方向性

■ 河南東中学校

向こう10年間の推計では、複数学級が継続する見込みであり、現状維持とします。

■ 須江小学校

向こう10年間の推計では、複式学級が生じない見込みであり、現状維持とします。

■ 和渕小学校

向こう10年間の推計では、児童数は減少傾向で、複式学級が生じる見込みであり、これまでの保護者説明会等の経緯を踏まえ、今後の学校のあり方について、地区懇談会を開催して検討します。

■ 鹿又小学校

向こう10年間の推計では、複式学級が生じない見込みであり、現状維持とします。

《普通学級における学級数及び児童生徒数の長期見込み》

※各年度の左列：学級数、右列：児童生徒数（平成30年5月1日現在）

※網掛け部分は、まだ生まれていない児童の推計値

※学区外就学及び転入・転出など社会動態による児童生徒数の増減等は、加味していない。

※特別支援学級の児童生徒数は、推計値に含めていない。

※復興公営住宅や防災集団移転用地等への転居予定による児童生徒数の増減は、平成29年度末の状況を反映している。

河南東中学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	3	83	3	89	4	114	3	88	4	110	3	103	4	110	4	126	3	96	3	95	3	93
2	3	102	3	83	3	89	3	114	3	88	3	110	3	103	3	110	4	126	3	96	3	95
3	3	100	3	102	3	83	3	89	3	114	3	88	3	110	3	103	3	110	4	126	3	96
計	9	285	9	274	10	286	9	291	10	312	9	301	10	323	10	339	10	332	10	317	9	284

須江小学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	2	41	2	54	1	33	2	36	2	39	1	25	1	19	1	27	1	23	1	22	1	23
2	1	35	2	41	2	54	1	33	2	36	2	39	1	25	1	19	1	27	1	23	1	22
3	2	48	1	35	2	41	2	54	1	33	1	36	1	39	1	25	1	19	1	27	1	23
4	2	38	2	48	1	35	2	41	2	54	1	33	1	36	1	39	1	25	1	19	1	27
5	2	49	1	38	2	48	1	35	2	41	2	54	1	33	1	36	1	39	1	25	1	19
6	2	42	2	49	1	38	2	48	1	35	2	41	2	54	1	33	1	36	1	39	1	25
計	11	253	10	265	9	249	10	247	10	238	9	228	7	206	6	179	6	169	6	155	6	139

和渕小学校

※太枠は複式学級

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	1	18	1	22	1	8	1	9	1	9	1	9	1	5	1	7	1	7	1	6	1	6
2	1	12	1	18	1	22	1	8	1	9	1	9	1	9	1	5	1	7	1	7	1	6
3	1	23	1	12	1	18	1	22	1	8	1	9	1	9	1	9	1	5	1	7	1	7
4	1	11	1	23	1	12	1	18	1	22	1	8	1	9	1	9	1	9	1	5	1	7
5	1	20	1	11	1	23	1	12	1	18	1	22	1	8	1	9	1	9	1	9	1	5
6	1	15	1	20	1	11	1	23	1	12	1	18	1	22	1	8	1	9	1	9	1	9
計	6	99	6	106	6	94	6	92	6	78	6	75	6	62	5	47	5	46	4	43	4	40

鹿又小学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	2	51	2	50	2	55	2	50	2	45	1	35	1	25	1	34	1	30	1	29	1	30
2	2	56	2	51	2	50	2	55	2	50	2	45	1	35	1	25	1	34	1	30	1	29
3	1	39	2	56	2	51	2	50	2	55	2	50	2	45	1	35	1	25	1	34	1	30
4	1	39	1	39	2	56	2	51	2	50	2	55	2	50	2	45	1	35	1	25	1	34
5	2	45	1	39	1	39	2	56	2	51	2	50	2	55	2	50	2	45	1	35	1	25
6	1	32	2	45	1	39	1	39	2	56	2	51	2	50	2	55	2	50	2	45	1	35
計	9	262	10	280	10	290	11	301	12	307	11	286	10	260	9	244	8	219	7	198	6	183

16 河南西中学校区

(1) 学校の沿革

【中学校】

学 校 名	創立年月日	沿 革
河南西中学校	平成元年4月8日	平成元年広渕中学校、北村中学校、前谷地中学校の一部（前谷地小学校区）が統合され、現在地に新設校として開校し、現在に至る。

【小学校】

学 校 名	創立年月日	沿 革
広渕小学校	明治6年4月20日	明治6年深谷小学校として開校。明治29年深谷村分離により広渕小学校として独立し、現在に至る。
北村小学校	明治6年6月8日	明治6年開校。明治22年深谷小学校の分校となる。明治29年深谷村分離により北村小学校として独立し、現在に至る。
前谷地小学校	明治6年6月1日	明治6年開校。明治8年現在地に移転し、現在に至る。

(2) 学級数

■ 河南西中学校

平成30年5月1日現在の学級数は6学級で標準的規模を下回っています。向こう10年間の推計では、令和10年度まで6学級で推移し、全学年でクラス替えができ、同学年に複数教員を配置できる規模が継続する見込みです。

■ 広渕小学校

平成30年5月1日現在の学級数は6学級で標準的規模を下回っています。向こう10年間の推計では、令和10年度まで6学級で推移し、全学年でクラス替えができない状況が継続する見込みです。

■ 北村小学校

平成30年5月1日現在の学級数は6学級で標準的規模を下回っています。向こう10年間の推計では、令和10年度まで6学級で推移し、全学年でクラス替えができない状況が継続する見込みです。

■ 前谷地小学校

平成30年5月1日現在の学級数は6学級で標準的規模を下回っています。向こう10年間の推計では、令和10年度まで6学級で推移し、全学年でクラス替えができない状況が継続する見込みです。

(3) 児童生徒数

■ 河南西中学校

平成30年5月1日現在の生徒数は169名です。向こう10年間の推計では、生徒数の年平均増減率はプラス1.8%であり、令和10年度には201名となる見込みです。

■ 広渕小学校

平成30年5月1日現在の児童数は174名です。向こう10年間の推計では、児童数の年平均増減率はマイナス1.2%であり、令和10年度には153名となる見込みです。

■ 北村小学校

平成30年5月1日現在の児童数は71名です。向こう10年間の推計では、児童数の年平均増減率はマイナス2.2%であり、令和10年度には56名となる見込みです。

■ 前谷地小学校

平成30年5月1日現在の児童数は125名です。向こう10年間の推計では、児童数の年平均増減率はマイナス1.5%であり、令和10年度には106名となる見込みです。

(4) 学区再編計画（素案）保護者説明会の意見等（平成29年度開催）

学区再編計画（素案）の保護者説明会において、河南西中学校区の学区再編の一つの考え方として、「河南西中学校は、現状維持とする」こと、また、「広渕小学校と北村小学校の統合を進める」こと、さらに、「平成36年度を目途に、前谷地小学校と和渕小学校の統合を進める」ことを提示し、意見交換をしました。なお、その主な意見等は次のとおりでした。

■ 河南西中学校

- ・ 保護者説明会は開催せず、保護者に情報提供を行いました。

■ 広渕小学校

- ・ 広渕小学校は車の出入口が狭いため、統合後の校舎となる場合は改善してほしい。
- ・ 以前の統合において、スクールバスに新入生は乗れるが在校生は乗れないということがあったので、そのようなことがないようにしてほしい。
- ・ 統合により校舎を整備する場合は、仮設ではなく増改築をして長く使える校舎とされたい。

■ 北村小学校

- ・ 統合により広渕小学校の校舎を使用する場合は、校庭が小さいと感じる。
- ・ 統合後、最初の3年間は北村小学校の校舎を使用し、後の3年間は広渕小学校の校舎を使用することはできないものか。
- ・ 河南地区の他校の統合に合わせて、広渕小学校と北村小学校も一気に統合を進める考えがあってもよい。
- ・ 少ない人数の学校と多い人数の学校のそれぞれに良いところがあると思うが、どちらが良いのか不安である。

- ・ 学校行事の違いもあり、どちらを尊重されるか不安がある。
- ・ 子どもたちのことを第一に考えるが、地域とのつながりもあり、どこに重きを置くか判断が難しい。
- ・ 統合ありきではなく、あえて少人数制とする柔軟な考え方があってもよいのではないか。
- ・ 浦戸小学校のような特区制度を活用したモデルケースなど、いろいろな考え方をしてもよいのではないか。

(5) 統合に向けた検討の方向性

■ 河南西中学校

向こう10年間の推計では、複数学級が継続する見込みであり、現状維持とします。

■ 広瀬小学校

向こう10年間の推計では、複式学級が生じない見込みであり、現状維持とします。

■ 北村小学校

向こう10年間の推計では、児童数は減少傾向にあるものの、複式学級とはならない見込みですが、これまでの保護者説明会等の経緯を踏まえ、今後の学校のあり方について、地区懇談会を開催して検討します。

■ 前谷地小学校

向こう10年間の推計では、複式学級が生じない見込みであり、現状維持とします。

《普通学級における学級数及び児童生徒数の長期見込み》

※各年度の左列：学級数、右列：児童生徒数（平成30年5月1日現在）

※網掛け部分は、まだ生まれていない児童の推計値

※学区外就学及び転入・転出など社会動態による児童生徒数の増減等は、加味していない。

※特別支援学級の児童生徒数は、推計値に含めていない。

※復興公営住宅や防災集団移転用地等への転居予定による児童生徒数の増減は、平成29年度末の状況を反映している。

河南西中学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	2	51	2	60	2	67	2	55	2	69	2	55	2	64	2	58	2	65	2	66	2	70
2	2	61	2	51	2	60	2	67	2	55	2	69	2	55	2	64	2	58	2	65	2	66
3	2	57	2	61	2	51	2	60	2	67	2	55	2	69	2	55	2	64	2	58	2	65
計	6	169	6	172	6	178	6	182	6	191	6	179	6	188	6	177	6	187	6	189	6	201

広瀬小学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	1	32	1	32	1	32	1	30	1	32	1	26	1	25	1	27	1	25	1	25	1	25
2	1	26	1	32	1	32	1	32	1	30	1	32	1	26	1	25	1	27	1	25	1	25
3	1	33	1	26	1	32	1	32	1	32	1	30	1	32	1	26	1	25	1	27	1	25
4	1	22	1	33	1	26	1	32	1	32	1	32	1	30	1	32	1	26	1	25	1	27
5	1	32	1	22	1	33	1	26	1	32	1	32	1	32	1	30	1	32	1	26	1	25
6	1	29	1	32	1	22	1	33	1	26	1	32	1	32	1	32	1	30	1	32	1	26
計	6	174	6	177	6	177	6	185	6	184	6	184	6	177	6	172	6	165	6	160	6	153

北村小学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	1	9	1	9	1	14	1	10	1	16	1	11	1	7	1	11	1	9	1	9	1	9
2	1	10	1	9	1	9	1	14	1	10	1	16	1	11	1	7	1	11	1	9	1	9
3	1	11	1	10	1	9	1	9	1	14	1	10	1	16	1	11	1	7	1	11	1	9
4	1	16	1	11	1	10	1	9	1	9	1	14	1	10	1	16	1	11	1	7	1	11
5	1	16	1	16	1	11	1	10	1	9	1	9	1	14	1	10	1	16	1	11	1	7
6	1	9	1	16	1	16	1	11	1	10	1	9	1	9	1	14	1	10	1	16	1	11
計	6	71	6	71	6	69	6	63	6	68	6	69	6	67	6	69	6	64	6	63	6	56

前谷地小学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	1	23	1	17	1	19	1	26	1	22	1	24	1	12	1	19	1	18	1	16	1	17
2	1	19	1	23	1	17	1	19	1	26	1	22	1	24	1	12	1	19	1	18	1	16
3	1	25	1	19	1	23	1	17	1	19	1	26	1	22	1	24	1	12	1	19	1	18
4	1	17	1	25	1	19	1	23	1	17	1	19	1	26	1	22	1	24	1	12	1	19
5	1	19	1	17	1	25	1	19	1	23	1	17	1	19	1	26	1	22	1	24	1	12
6	1	22	1	19	1	17	1	25	1	19	1	23	1	17	1	19	1	26	1	22	1	24
計	6	125	6	120	6	120	6	129	6	126	6	131	6	120	6	122	6	121	6	111	6	106

桃 生 地 区

17 桃生中学校区

(1) 学校の沿革

【中学校】

学 校 名	創 立 年 月 日	沿 革
桃生中学校	昭和22年4月1日	昭和22年開校。昭和44年中津山中学校と統合し、現在に至る。

【小学校】

学 校 名	創 立 年 月 日	沿 革
中津山第一小学校	明治6年6月	明治6年新田公立小学校として開校。昭和22年中津山第一小学校に改称し、現在に至る。
中津山第二小学校	明治6年	明治6年中津山公立小学校として開校。昭和22年中津山第二小学校に改称し、現在に至る。
桃生小学校	明治6年5月	明治6年檜崎公立小学校として開校。明治20年太田尋常小学校の分教場となる。明治34年桃生（尋常）小学校として独立し、現在に至る。

(2) 学級数

■ 桃生中学校

平成30年5月1日現在の学級数は6学級で標準的規模を下回っています。向こう10年間の推計では、令和10年度まで6学級で推移し、全学年でクラス替えができ、同学年に複数教員を配置できる規模が継続する見込みです。

■ 中津山第一小学校

平成30年5月1日現在の学級数は6学級で標準的規模を下回っています。向こう10年間の推計では、令和10年度まで6学級で推移し、全学年でクラス替えができない状況が継続する見込みです。

■ 中津山第二小学校

平成30年5月1日現在の学級数は6学級で標準的規模を下回っています。向こう10年間の推計では、令和10年度まで6学級で推移し、全学年でクラス替えができない状況が継続する見込みです。

■ 桃生小学校

平成30年5月1日現在の学級数は6学級で標準的規模を下回っています。向こう10年間の推計では、令和6年度には5学級に減少し、一部の学年で複式学級が継続する見込みです。

(3) 児童生徒数

■ 桃生中学校

平成30年5月1日現在の生徒数は191名です。向こう10年間の推計では、生徒数の年平均増減率はマイナス3.3%であり、令和10年度には135名となる見込みです。

■ 中津山第一小学校

平成30年5月1日現在の児童数は106名です。向こう10年間の推計では、児童数の年平均増減率はマイナス4.7%であり、令和10年度には65名となる見込みです。

■ 中津山第二小学校

平成30年5月1日現在の児童数は121名です。向こう10年間の推計では、児童数の年平均増減率はマイナス2.0%であり、令和10年度には98名となる見込みです。

■ 桃生小学校

平成30年5月1日現在の児童数は94名です。向こう10年間の推計では、児童数の年平均増減率はマイナス7.5%であり、令和10年度には42名となる見込みです。

(4) 学区再編計画（素案）保護者説明会の意見等（平成29年度開催）

学区再編計画（素案）の保護者説明会において、桃生中学校区の学区再編の一つの考え方として、「桃生中学校は現状維持とする」こと、また、「中津山第一小学校、中津山第二小学校、桃生小学校の3校統合を進める」ことを提示し、意見交換をしました。なお、その主な意見等は次のとおりでした。

■ 桃生中学校

- ・ 保護者説明会は開催せず、保護者に情報提供を行いました。

■ 中津山第一小学校

- ・ 特に意見はありませんでした。

■ 中津山第二小学校

- ・ 統合する場合、中津山第二小学校の旧学校給食センターを解体すれば、校舎の増築場所を確保でき、駐車場として桃生総合支所を借りることもでき条件が良い。

■ 桃生小学校

- ・ 子どもたちの送迎をしっかり支援してほしい。
- ・ どこの校舎も古いので建て替えた方が良い。

(5) 統合に向けた検討の方向性

■ 桃生中学校

向こう10年間の推計では、複数学級が継続する見込みであり、現状維持とします。

■ 中津山第一小学校、中津山第二小学校、桃生小学校

向こう10年間の推計では、中津山第一小学校及び中津山第二小学校については、複式学級は生じない見込みですが、桃生小学校については、児童数は減少傾向で、複式学級が生じる見込みであり、これまでの保護者説明会等の経緯を踏まえ、中津山第一小学校、中津山第二小学校、桃生小学校の今後の学校のあり方及びその一つの考え方としての3校の統合について、地区懇談会を開催して検討します。

《普通学級における学級数及び児童生徒数の長期見込み》

※各年度の左列：学級数、右列：児童生徒数（平成30年5月1日現在）

※網掛け部分は、まだ生まれていない児童の推計値

※学区外就学及び転入・転出など社会動態による児童生徒数の増減等は、加味していない。

※特別支援学級の児童生徒数は、推計値に含めていない。

※復興公営住宅や防災集団移転用地等への転居予定による児童生徒数の増減は、平成29年度末の状況を反映している。

桃生中学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	2	67	2	44	2	65	2	56	2	51	2	53	2	50	2	46	2	44	2	46	2	45
2	2	63	2	66	2	44	2	65	2	56	2	51	2	53	2	50	2	46	2	44	2	46
3	2	61	2	63	2	66	2	44	2	65	2	56	2	51	2	53	2	50	2	46	2	44
計	6	191	6	173	6	175	6	165	6	172	6	160	6	154	6	149	6	140	6	136	6	135

中津山第一小学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	1	11	1	16	1	16	1	15	1	15	1	12	1	9	1	12	1	11	1	10	1	11
2	1	19	1	10	1	16	1	16	1	15	1	15	1	12	1	9	1	12	1	11	1	10
3	1	11	1	19	1	10	1	16	1	16	1	15	1	15	1	12	1	9	1	12	1	11
4	1	22	1	11	1	19	1	10	1	16	1	16	1	15	1	15	1	12	1	9	1	12
5	1	24	1	21	1	11	1	19	1	10	1	16	1	16	1	15	1	15	1	12	1	9
6	1	19	1	24	1	21	1	11	1	19	1	10	1	16	1	16	1	15	1	15	1	12
計	6	106	6	101	6	93	6	87	6	91	6	84	6	83	6	79	6	74	6	69	6	65

中津山第二小学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	1	20	1	18	1	14	1	19	1	23	1	16	1	16	1	18	1	16	1	16	1	16
2	1	25	1	20	1	18	1	14	1	19	1	23	1	16	1	16	1	18	1	16	1	16
3	1	19	1	25	1	20	1	18	1	14	1	19	1	23	1	16	1	16	1	18	1	16
4	1	24	1	19	1	25	1	20	1	18	1	14	1	19	1	23	1	16	1	16	1	18
5	1	20	1	24	1	19	1	25	1	20	1	18	1	14	1	19	1	23	1	16	1	16
6	1	13	1	20	1	24	1	19	1	25	1	20	1	18	1	14	1	19	1	23	1	16
計	6	121	6	126	6	120	6	115	6	119	6	110	6	106	6	106	6	108	6	105	6	98

桃生小学校

※太枠は複式学級

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	1	20	1	12	1	14	1	12	1	7	1	6	1	8	1	7	1	7	1	7	1	7
2	1	9	1	20	1	12	1	14	1	12	1	7	1	6	1	8	1	7	1	7	1	7
3	1	21	1	9	1	20	1	12	1	14	1	12	1	7	1	6	1	8	1	7	1	7
4	1	11	1	21	1	9	1	20	1	12	1	14	1	12	1	7	1	6	1	8	1	7
5	1	21	1	11	1	21	1	9	1	20	1	12	1	14	1	12	1	7	1	6	1	8
6	1	12	1	21	1	11	1	21	1	9	1	20	1	12	1	14	1	12	1	7	1	6
計	6	94	6	94	6	87	6	88	6	74	6	71	5	59	5	54	4	47	4	42	4	42

《統合を想定した場合の学級数及び児童数の長期見込み》

※各年度の左列：学級数、右列：児童数（平成30年5月1日現在）

※網掛け部分は、まだ生まれていない児童の推計値

※学区外就学及び転入・転出など社会動態による児童数の増減等は、加味していない。

※特別支援学級の児童数は、推計値に含めていない。

※復興公営住宅や防災集団移転用地等への転居予定による児童数の増減は、平成29年度末の状況を反映している。

「中津山第一小学校」と「中津山第二小学校」と「桃生小学校」が統合した場合

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	—	—	—	—	2	44	2	46	2	45	1	34	1	33	2	37	1	34	1	33	1	34
2	—	—	—	—	2	46	2	44	2	46	2	45	1	34	1	33	2	37	1	34	1	33
3	—	—	—	—	2	50	2	46	2	44	2	46	2	45	1	34	1	33	1	37	1	34
4	—	—	—	—	2	53	2	50	2	46	2	44	2	46	2	45	1	34	1	33	1	37
5	—	—	—	—	2	51	2	53	2	50	2	46	2	44	2	46	2	45	1	34	1	33
6	—	—	—	—	2	56	2	51	2	53	2	50	2	46	2	44	2	46	2	45	1	34
計	—	—	—	—	12	300	12	290	12	284	11	265	10	248	10	239	9	229	7	216	6	205

中津山第一小学校の普通教室利用可能数：7（最大）

中津山第二小学校の普通教室利用可能数：8（最大）

桃生小学校の普通教室利用可能数：8（最大）

※特別教室、特別支援教室等は平成30年度の室数でカウントし、この室数に含まない。

北上地区

18 北上中学校区

(1) 学校の沿革

【中学校】

学校名	創立年月日	沿革
北上中学校	昭和22年4月1日	昭和22年橋浦中学校として開校。平成元年4月、月浜中学校と統合し、統合後の校名を北上中学校とした。平成20年4月相川中学校と統合し、現在に至る。

【小学校】

学校名	創立年月日	沿革
北上小学校	明治6年	明治6年橋浦小学校として開校。平成25年4月吉浜小学校、相川小学校と統合し、統合後の校名を北上小学校とし、現在に至る。

※ 北上地区については、学区再編が完了しています。

牡 鹿 地 区

19 牡鹿中学校区

(1) 学校の沿革

【中学校】

学 校 名	創 立 年 月 日	沿 革
牡鹿中学校	昭和22年4月19日	昭和22年鮎川中学校として開校。平成12年4月網長中学校と統合。平成22年4月寄磯中学校、大原中学校と統合し、統合後の校名を牡鹿中学校とし、現在に至る。

【小学校】

学 校 名	創 立 年 月 日	沿 革
鮎川小学校	明治6年5月20日	明治6年開校。明治10年大原小学校の分教場となる。明治22年鮎川小学校として独立。平成12年4月網長小学校と統合し、現在に至る。
大原小学校	明治6年5月21日	明治6年開校。明治10年鮎川、谷川、寄磯等に分教場を設置（分教場は明治22年に独立）。明治35年現在地に移転。平成24年4月谷川小学校と統合し、現在に至る。
寄磯小学校	明治6年5月21日	明治6年開校。明治8年谷川小学校の支校。明治12年寄磯小学校として独立。明治20年大原小学校の分教場となる。明治22年独立し、現在に至る。

(2) 学級数

■ 牡鹿中学校

平成30年5月1日現在の学級数は3学級で標準的規模を下回っています。向こう10年間の推計では、令和10年度まで3学級で推移し、全学年でクラス替えができない状況が継続する見込みです。

■ 鮎川小学校

平成30年5月1日現在の学級数は3学級で全学年複式学級となっています。向こう10年間の推計では、令和10年度まで3学級で推移し、全学年複式学級が継続する見込みです。

■ 大原小学校

平成30年5月1日現在の学級数は3学級で全学年複式学級となっています。向こう10年間の推計では、令和10年度まで3～4学級で推移し、全学年又は一部の学年で複式学級が継続する見込みです。

■ 寄磯小学校

平成30年5月1日現在の学級数は3学級で全学年複式学級となっています。向こう10年間の推計では、令和10年度まで2～3学級で推移し、全学年複式学級又は一部の学年で児童が在籍しない状況が継続する見込みです。

(3) 児童生徒数

■ 牡鹿中学校

平成30年5月1日現在の生徒数は29名です。向こう10年間の推計では、生徒数の年平均増減率はプラス1.3%であり、令和10年度には28名となる見込みです。

■ 鮎川小学校

平成30年5月1日現在の児童数は20名です。向こう10年間の推計では、児童数の年平均増減率はマイナス3.6%であり、令和10年度には13名となる見込みです。

■ 大原小学校

平成30年5月1日現在の児童数は17名です。向こう10年間の推計では、児童数の年平均増減率はマイナス3.6%であり、令和10年度には11名となる見込みです。

■ 寄磯小学校

平成30年5月1日現在の児童数は9名です。向こう10年間の推計では、児童数の年平均増減率はマイナス2.9%であり、令和10年度には6名となる見込みです。

(4) 学区再編計画（素案）保護者説明会の意見等（平成29年度開催）

計画素案の保護者説明会において、牡鹿中学校区の学区再編の一つの考え方として、「牡鹿中学校は現状維持とする」こと、また、「鮎川小学校、大原小学校、寄磯小学校の3校統合を速やかに進める」ことを提示し、意見交換をしました。なお、その主な意見等は次のとおりでした。

■ 牡鹿中学校

- ・ 保護者説明会は開催せず、保護者に情報提供を行いました。

■ 鮎川小学校

- ・ 統合後の学校の場所等を示されないと判断が難しい。
※ 説明会参加者の中で統合に対する賛否確認が行われ、ほとんどの方が賛成の意思を表明されました。

■ 大原小学校

- ・ 統合後の校舎は大原小学校が良い。

■ 寄磯小学校

- ・ 年配の方の中には統合に反対する方がいるかもしれないが、現状では子どもたちがかわいそうである。統合は急いで進めた方が良い。
- ・ 統合に関して異論はないが、スクールバスは寄磯地区から学校までの直行としてほしい。

(5) 統合に向けた検討の方向性

■ 牡鹿中学校

牡鹿地区唯一の中学校であることから、現状維持とします。

■ 鮎川小学校、大原小学校、寄磯小学校

向こう10年間の推計では、児童数は減少傾向で、複式学級が継続する見込みであり、これまでの保護者説明会等の経緯を踏まえ、鮎川小学校、大原小学校、寄磯小学校の今後の学校のあり方及びその一つの考え方としての3校の統合について、地区懇談会を開催して検討します。

《普通学級における学級数及び児童生徒数の長期見込み》

※各年度の左列：学級数、右列：児童生徒数（平成30年5月1日現在）

※網掛け部分は、まだ生まれていない児童の推計値

※学区外就学及び転入・転出など社会動態による児童生徒数の増減等は、加味していない。

※特別支援学級の児童生徒数は、推計値に含めていない。

※復興公営住宅や防災集団移転用地等への転居予定による児童生徒数の増減は、平成29年度末の状況を反映している。

牡鹿中学校

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	1	8	1	7	1	7	1	8	1	8	1	11	1	5	1	3	1	8	1	9	1	11
2	1	11	1	8	1	7	1	7	1	8	1	8	1	11	1	5	1	3	1	8	1	9
3	1	10	1	11	1	8	1	7	1	7	1	8	1	8	1	11	1	5	1	3	1	8
計	3	29	3	26	3	22	3	22	3	23	3	27	3	24	3	19	3	16	3	20	3	28

鮎川小学校

※太枠は複式学級

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	1	1	1	1	1	3	1	2	1	5	1	2	1	2	1	3	1	2	1	2	1	2
2		5		1		1		3		2		5		2		2		3		2		2
3	1	3	1	5	1	1	1	1	1	3	1	2	1	5	1	2	1	2	1	3	1	2
4		4		3		5		1		1		3		2		5		2		2		3
5	1	5	1	4	1	3	1	5	1	1	1	1	1	3	1	2	1	5	1	2	1	2
6		2		5		4		3		5		1		1		3		2		5		2
計	3	20	3	19	3	17	3	15	3	17	3	14	3	15	3	17	3	16	3	16	3	13

大原小学校

※太枠は複式学級

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	1	3	1	2	1	3	1	6	1	4	1	2	1	1	1	2	1	2	1	2	1	2
2		4		3		2		3		6		4		2		1		2		2		2
3	1	3	1	4	1	3		2		3	1	6	1	4	1	2	1	1	1	2	1	2
4		3		3		4		3		1		3		6		4		2		1		2
5	1	1	1	3	1	3		4		3	1	2	1	3	1	6	1	4	1	2	1	1
6		3		1		3		3		4		3		2		3		6		4		2
計	3	17	3	16	3	18	4	21	4	22	3	20	3	18	3	18	3	17	3	13	3	11

寄磯小学校

※太枠は複式学級

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	1	1	0	0	1	2	1	1	1	2	0	0	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1
2		2	1	1		0		2		1	1	2		0		2		1		1		1
3	1	2		2		1		0		1	2			2	0	0		1	2	1	1	1
4		1	1	2		1	2		1	0	1	2		1	1	2		0	0		2	1
5	1	1	1	1	1	2		2		1		0		2		1	1	2	0	0	1	2
6		2		1		1	1	2	1	2		1	0	0	1	2		1	1	2	0	0
計	3	9	3	7	3	8	3	8	3	8	2	6	2	7	3	8	3	7	3	7	3	6

《統合を想定した場合の学級数及び児童数の長期見込み》

※各年度の左列：学級数、右列：児童数（平成30年5月1日現在）

※網掛け部分は、まだ生まれていない児童の推計値

※学区外就学及び転入・転出など社会動態による児童数の増減等は、加味していない。

※特別支援学級の児童数は、推計値に含めていない。

※復興公営住宅や防災集団移転用地等への転居予定による児童数の増減は、平成29年度末の状況を反映している。

「鮎川小学校」と「大原小学校」と「寄磯小学校」が統合した場合

※太枠は複式学級

学年	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
1	—	—	—	—	1	8	1	9	1	11	1	4	1	5	1	6	1	5	1	5	1	5
2	—	—	—	—	1	3	1	8	1	9	1	11	1	4	1	5	1	6	1	5	1	5
3	—	—	—	—		5		3	1	8	1	9		11		4		5		6		5
4	—	—	—	—	1	11	1	5		3	1	8	1	9	1	11		4		5		6
5	—	—	—	—	1	8		11	1	5	1	3	1	8	1	9	1	11	1	4	1	5
6	—	—	—	—		8	1	8		11		5		3	1	8	1	9		11		4
計	—	—	—	—	4	43	4	44	4	47	5	40	4	40	5	43	4	40	3	36	3	30

鮎川小学校の普通教室利用可能数：10（最大）

大原小学校の普通教室利用可能数：5（最大）

寄磯小学校の普通教室利用可能数：6（最大）

※特別教室、特別支援教室等は平成30年度の室数でカウントし、この室数に含まない。